

Alter⁺
オルタプラス

H.264 HDDレコーダー
AD-N4series

取扱説明書



このたびは、AD-N4シリーズをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
製品を、安全に正しくお使い頂くため本書をよくお読みになり十分にご理解の上使用して下さい。
本書は、保証書付ですので大切に保管し、必要なときにお読みください。

CARROT SYSTEMS

H.264 HDDレコーダー AD-N4series

目次

安全上のご注意	P.4	カメラの画質調整	P.31
必ずお読みください			
内蔵HDDについて	P.6	システム設定	
大切なデータを失わないために	P.6	工場出荷時設定に戻す	P.32
ハードディスクの修理について	P.6	言語(LANGUAGE)	P.33
記録内容に関する免責事項	P.7	NTSC/PAL選択	P.33
画面の焼きつきについて	P.7	ボタン操作音	P.34
接続と準備(クリックガイド1)			
パッケージ内容の確認	P.8	映像出力設定(PCモニター)	P.35
各部名称	P.8	映像出力設定(TVモニター)	P.36
カメラからの配線	P.12	日付/時間の設定	P.37
モニターへの配線	P.13	精度の高い日時設定	P.38
電源を入れる	P.17	パスワード	P.40
起動の確認	P.17	情報	P.43
主な操作(クリックガイド2)			
画面表示と意味	P.18	録画設定	
映像の録画について	P.22	録画品質について	P.45
見たいCHを表示する (全画面/個別表示)	P.23	フレームレート設定	P.46
記録した映像を再生(日時指定)	P.24	画質	P.48
記録した映像を再生(イベント)	P.26	音声	P.49
イベント記録	P.28	解像度	P.50
検索しおり機能	P.28	記録モード	P.51
マウス操作について	P.29	スケジュール	P.52
メニュー画面の操作	P.30	ディスクフォーマット	P.54
		かんたん録画時間表示	P.55

アラーム設定

アラームについて	P.56
プリアラーム機能	P.56
アラームの種類	P.57

ビデオロス

ビデオロス検知	P.58
ビデオロス反応時間	P.59

モーション録画

モーション録画設定	P.60
検知エリアと感度設定	P.61

外部センサー

外部センサー録画の設定手順	P.64
1.外部センサーの接続	P.64
2.入力タイプ	P.66
3.連動CHの設定	P.67

外部アラームへ出力	P.68
-----------	------

高度な設定

警告音	P.70
アラーム継続時間	P.71
アラームの詳細設定	P.72

バックアップ

バックアップについて	P.74
USBメモリのフォーマット	P.75
バックアップ方法	P.76
バックアップデータを A-D-N4で再生する	P.77
バックアップデータを パソコンに保存・再生する	P.78

ネットワーク

設定編

リモートアクセスについて	P.80
ローカル接続	P.81
ローカル接続の設定方法	P.82
グローバル接続	P.86
グローバル接続の設定方法	P.87
ログイン方法	P.91
ログインパスワードの変更方法	P.92

操作編

リモート画面の操作方法	P.94
ライブ映像を見る	P.95
記録映像を再生する	P.96
バックアップする	P.97
設定	P.98

HDDの交換

P.100

製品仕様

P.104

困ったときは

P.106

保証書

裏表紙

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる所に保管して下さい。

■ 絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読み下さい。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左の例は感電注意)



禁止の行為であることを告げるものです。(左の例は分解禁止)



行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)



免責事項

- 本製品は、盗難防止器具・犯罪防止器具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について当社は一切責任を負いません。
- 製品の設置(取り付け・取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他の損害について、当社は一切責任を負いません。
- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災・第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失・誤用・その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損失・事業の中止・記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切責任を負いません。



警告



水などがかからないようにしてください

- 本製品の上に(花瓶・植木鉢・カップ)や水などの入った容器または金属物をおかないで下さい。こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。



分解・改造しないでください

- 本機を分解・改造しないで下さい。事故・火災・感電の原因となります。



異常状態で使用しないでください

- 発熱していたり煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。その際はすぐに使用を中止して下さい。
- 煙や臭いが出なくなるのを確認してから販売店に修理をご依頼下さい。
- お客様による修理は危険ですので絶対にしないで下さい。



この機器の取扱について

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- 本機や付属のケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないで下さい。また、重い物を乗せたり、加熱したりしないで下さい。機器やケーブルが破損し火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で本製品に触れないで下さい。感電の原因となります。



異物が入った時は

- 本製品を濡らさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意下さい。
- 異物や水が本機内部に入った場合は、ACアダプターを抜いて、販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意下さい。



落としたり、破損したときは

- 本機を落としたりして、破損した場合は使用を中止し販売店にご連絡下さい。



注意



設置場所について

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。
- 炎天下の車中等に放置しないで下さい。製品が加熱・変形・溶解することがあります。



この機器の取扱について

- 本機に付属のケーブルをストーブ等の熱器具に近づけないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜き差しする場合は、ケーブルを引っ張らないで下さい。ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



ご使用にならないときは

- ご使用にならないときは、安全のためACアダプターと接続を行わないで下さい。



本機の上に重い物を置かないで下さい

- 重い物を置くとバランスが崩れて、転倒・落下等でけがの原因となることがあります。

必ずお読みください――

◎内蔵HDDについて

ハードディスク（以下HDD）は、ホコリ・振動・衝撃・磁気・高温に弱いため下記の環境下ではご使用をお避けください。

また、大切なデータを失わないよう、下記の点にもご注意ください。

- ・本機に振動、衝撃を与えない。
- ・振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ・ビデオやアンプなど熱を持つ可能性のある機器の上に置かない。
- ・急減な温度変化のある場所では使用しない。
- ・電源を入れたまま本機を動かさない。

◎大切なデータを失わないために

万が一HDDが故障した場合、データの復旧は出来ません。

HDDの性質上、長期間の保存先としては十分な媒体ではありませんので必要なデータ（証拠映像など）はUSBメモリにてバックアップを取っていただきますようお願い申し上げます。

◎ハードディスクの修理について

修理点検の際、不具合確認・改善のためにHDD内のデータを確認させて頂く場合があります。また必要に応じお客様にご了承を頂いた上でデータのバックアップを取らせていただく場合がございます。

修理の際にHDDの交換・初期化が必要な場合は当社の判断で初期化を行わせて頂く場合がございます。

初期化の際はHDDに記録された内容は全て失われますのでご了承ください。

また交換させて頂いたHDD内の情報は第三者に漏洩するがないように厳重に処理をさせて頂きます。

◎記録内容に関する免責事項

本機の不具合または外部メディアの不具合・修理など、何らかの原因で本機または接続した外部メディアのデータが破損・消滅した場合の記録内容の保障、それに付随するあらゆる損害について、当社はいかなる場合においても一切の責任を負いません。またいかなる場合においても当社では保存データの修復・復元・複製は致しかねますのであらかじめご了承ください。

また交換させて頂いたHDD内の情報は第三者に漏洩する様ないように厳重に処理をさせて頂きます。

◎画面の焼きつきについて

長時間変化のない映像（動きのないカメラ映像やメニュー画面など）を画面上に表示させたままにするとモニター画面に残像（焼きつき）が残ってしまう場合があります。確認の必要がない場合はモニターの電源を切るなどしてください。

接続と準備(クイックガイド1) ━━

●パッケージ内容の確認

製品のパッケージを開封されると、下記の物が入っておりますのでご使用前にご確認下さい。

①AD-N4本体	× 1
②USBマウス	× 1
③BNC - RCA変換コネクタ	× 5
④リモコン	× 1
⑤ACアダプター	× 1
取扱説明書(本書)	× 1
保証書(本書裏表紙)	× 1



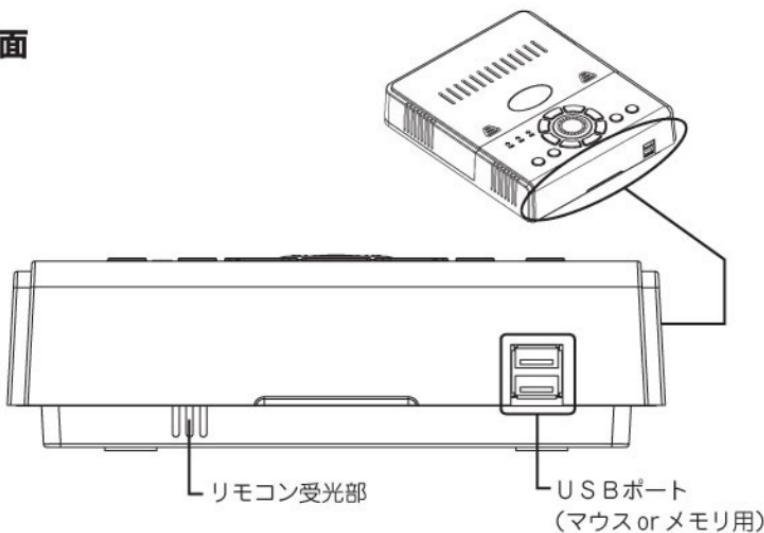
※付属品の外観や仕様は改良の為
予告なく変更する場合があります。

●各部名称

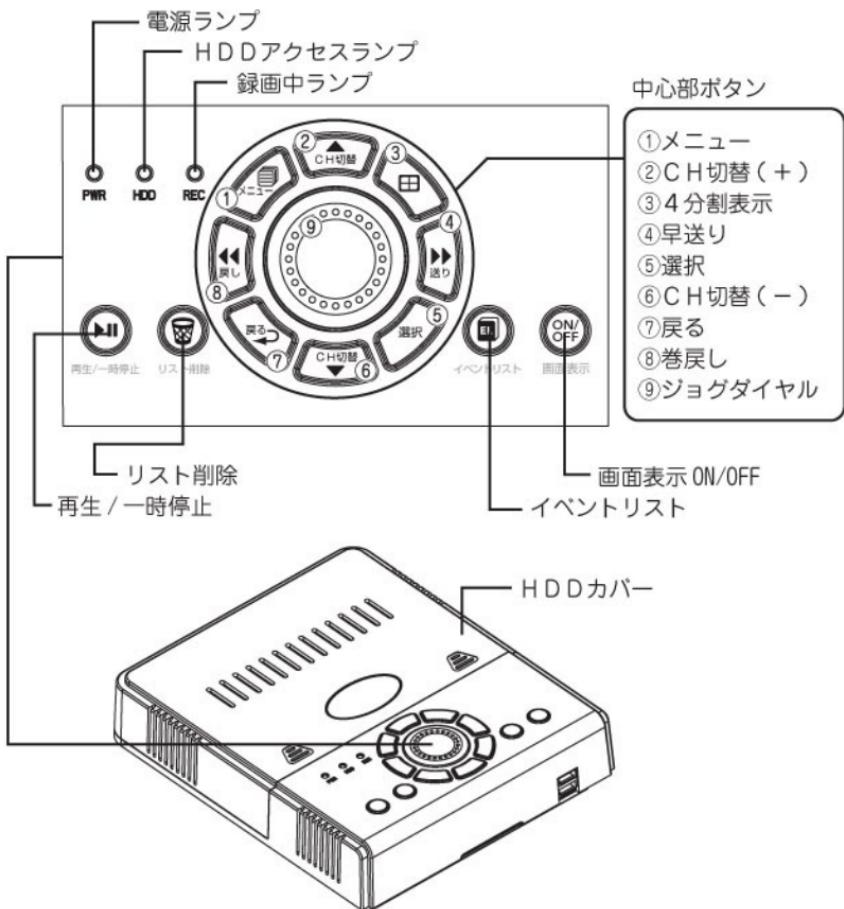
製品の各部名称は以下のようになります。

本書では操作説明時の名称等で以下の名称が使用されております。

●前面

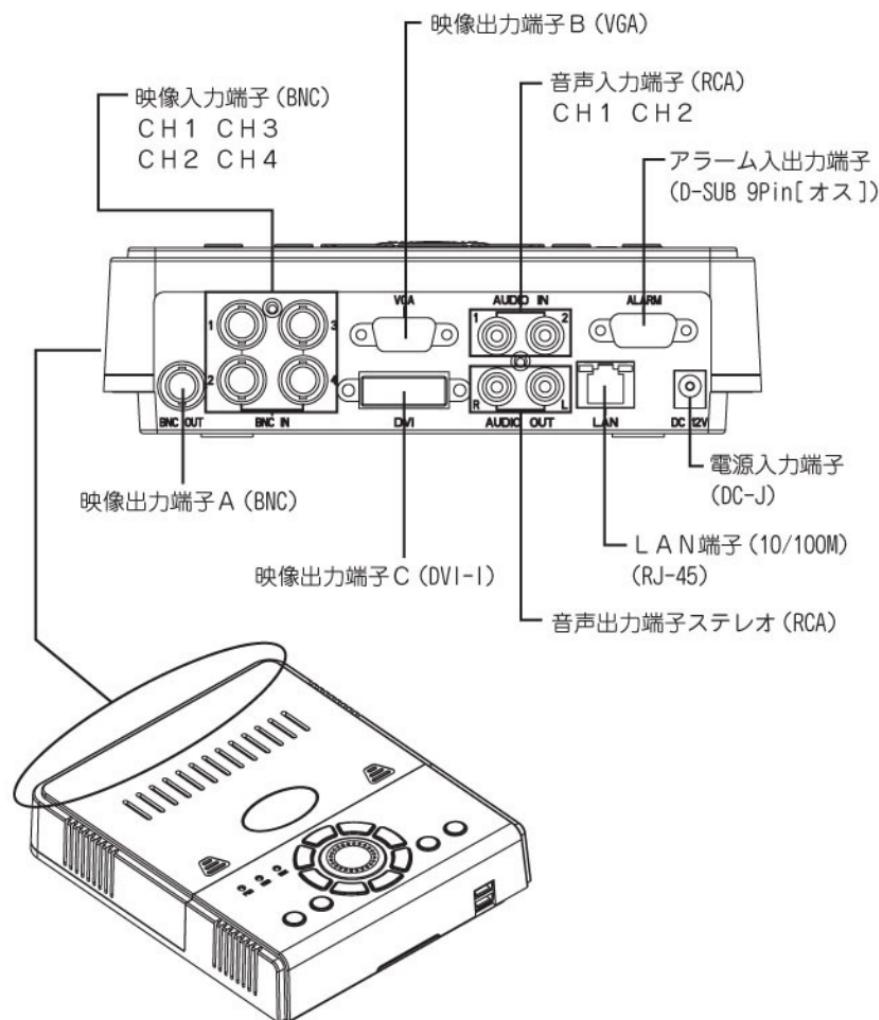


●上面

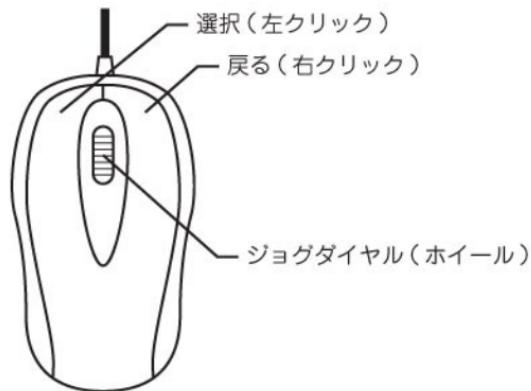


接続と準備(クイックガイド1) ━━

◎後面



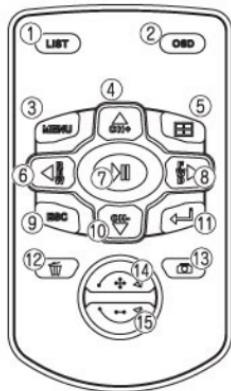
● USBマウス



※マウス操作は本体のボタン操作と同じになります。

● リモコン

リモコンボタン名称



- | | |
|--------------|---------------|
| ①イベントリスト | ⑫リスト削除 |
| ②画面表示 ON/OFF | ⑬使用しません |
| ③メニュー | ⑭ジョグダイヤル(右回転) |
| ④C H切替(+) | ⑮ジョグダイヤル(左回転) |
| ⑤4分割表示 | |
| ⑥巻戻し | |
| ⑦再生 / 一時停止 | |
| ⑧早送り | |
| ⑨戻る | |
| ⑩C H切替(-) | |
| ⑪選択 | |

※リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

※リモコンの各ボタン動作は本体のボタン操作と同じになります。

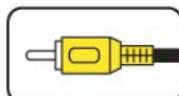
接続と準備(クイックガイド1)――

◎カメラからの配線

まず始めに本機に接続できるコネクタ形状を確認し、下記の配線イメージ図を参考にカメラ配線を本機へ接続してください。

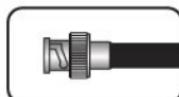
カメラケーブルのコネクタ形状は下記の2種類が接続可能です。

接続できるコネクタ形状



■RCAプラグ（家庭用カメラ）

同梱の〔BNC - RCA変換コネクタ〕を利用して接続可能です。

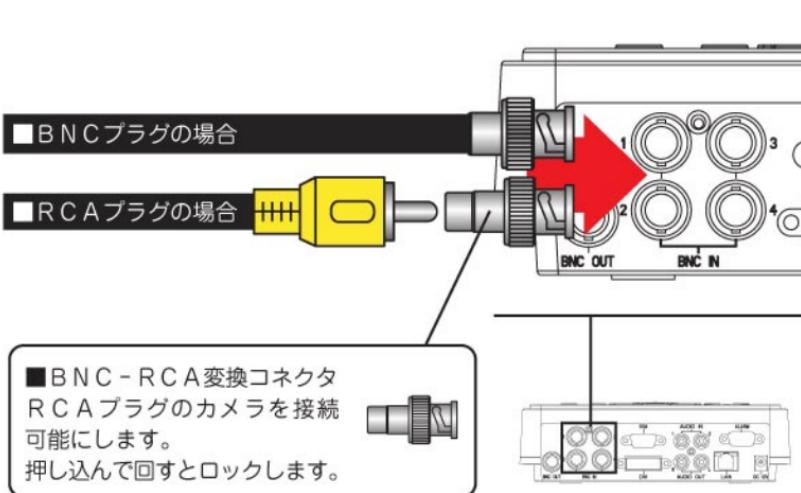


■BNCプラグ（業務用カメラ）

直接本機に接続可能です。

押し込んで回転させるとロックします。

配線イメージ図



●モニターへの配線

カメラからの配線が終わりましたら本機からモニターへの配線を行ってください。

はじめに

1. 本機は接続するモニターの種類によって操作アイコンの画面表示位置と体感画質（見た目）が変わります。

A D - N 4 シリーズは P C モニターでご利用時に最適な状態（操作・画質）を想定して設計しております。

本機をご使用の際は P C モニターのご使用をお勧めいたします。

2. 本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。

表示させるモニターの映像出力端子以外にケーブルを接続しないでください。

正しくモニターが選択されない場合があります。

画面が表示されなかった場合は映像出力端子の配線接続を 1 つにして再度電源を入れなおしてください。

※同時に 2 出力以上を出すことは出来ません。

利用可能なモニタ仕様

モニタ種類	P C モニター（アナログ）	P C モニター（デジタル）	T V モニター
映像入力端子	V G A	D V I - I	ビデオ入力端子
画面解像度	1 2 8 0 × 1 0 2 4 Pixels (S X G A) 1 0 2 4 × 7 6 8 Pixels (X G A) 8 0 0 × 6 0 0 (S V G A)		※ 2 制限なし
アスペクト比	4 : 3		制限なし
リフレッシュレート	6 0 H z		制限なし

上記の仕様を満たすモニターが利用可能です。

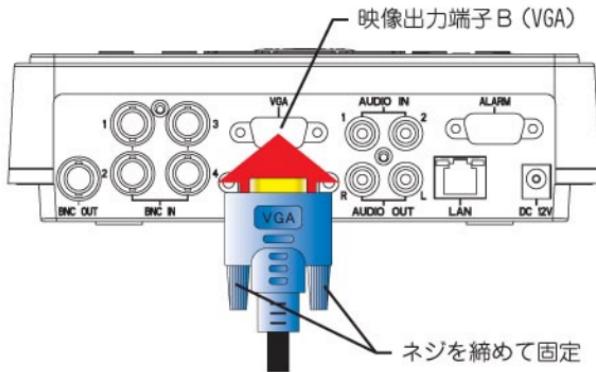
※稀に上記の仕様を満たしても使用できないモニターがある場合がございます。

※ 2 : 小型の T V モニターの場合、メニュー表示が読みにくくなる場合がございます。

接続と準備(クイックガイド1)――

アナログPCモニターへ接続(VGA)

1. 始めに市販のVGAケーブルをご用意ください
2. VGAケーブルを映像出力端子Bにコネクタの向きを確認し差し込みます
3. 両端のネジを締めて固定します

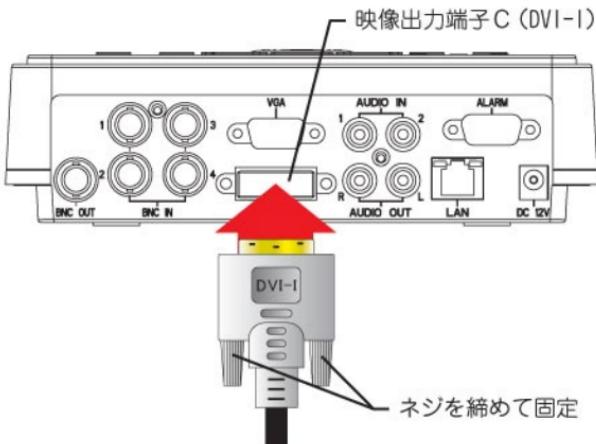


4. モニター側も同様に行ってください。

※モニターへの詳細な接続方法はモニターの取扱説明書をご覧ください。

デジタルPCモニターへ接続(DVI-I)

1. 始めに市販のDVIケーブルをご用意ください
2. DVIケーブルを映像出力端子Cにコネクタの向きを確認し差し込みます
3. 両端のネジを締めて固定します

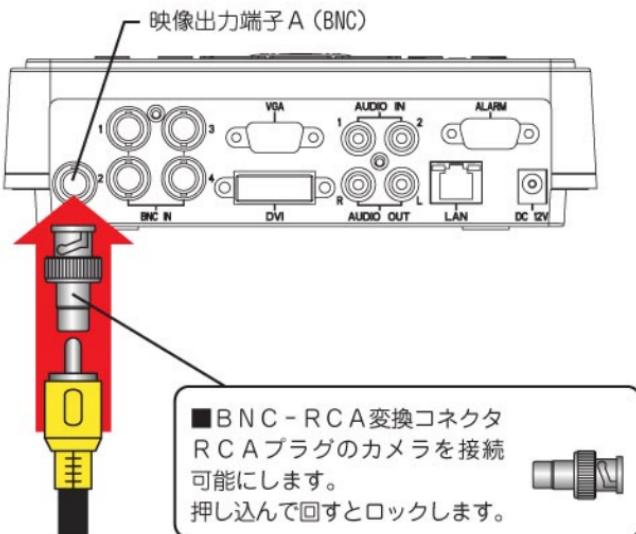


4. モニター側も同様に行ってください。
※詳細な接続方法はモニターの取扱説明書をご覧ください。

接続と準備(クイックガイド1)――

TVモニターへ接続(ビデオ入力)

1. 始めに市販のAVケーブル(黄色)をご用意ください。
2. 本機の映像出力端子Aに付属のBNC-RCA変換コネクタを取付けます。
3. 映像出力端子Aにご用意されたAVケーブルを差込み反対側をモニターのビデオ入力に接続してください。



※ TVモニター側の詳細な接続方法やチャンネルの設定方法等はTVモニターの取扱説明書をご覧ください。

⚠ ご注意！

本機はPCモニターでのご利用を前提として設計しております。
TVモニターは、PCモニターに比べ出力解像度が低くなっていますのでTVモニターに接続してご利用された場合、メニュー内容や日時表示が見づらくなる場合があります。
この際、付属のUSBマウスをご利用頂くと詳細箇所を拡大表示することが出来るようになります。

電源を入れる

配線が終わったら本機にA Cアダプターを接続しA C 1 0 0 Vコンセントに接続すると起動画面が表示され本機が起動します。

起動が完了すると接続しているモニターに映像が映し出されます。

接続のカメラ映像が表示されているかご確認ください。

カメラ映像が表示されていない場合は、接続と準備（クイックガイド1）「カメラからの配線」「モニターへの配線」の項をご確認の上再度電源を入れ直してください。

⚠ ご注意！

モニターへの配線は複数つながないでください

本機は電源投入時に接続されているモニターを本機が自動選択します。

本機の映像出力端子に配線を複数されている場合、接続されているモニターが正しく選択されない場合があります。

画面が表示されなかった場合は映像出力端子の配線を1つにして再度電源を入れなおしてください。※同時に2出力以上を出すことは出来ません

起動の確認

電源が入りカメラ映像が表示されたら本機は自動的にH D Dの認識を始めます。

この作業には約3 0秒程度必要です。

H D Dが正しく認識されると画面上部のH D D認識マークが  から  に変わります。

その後自動的に録画が開始されます。

主な操作(クイックガイド2)――

○画面表示と意味

DVRの現在状況によって画面内の表示項目（ステータス表示）が変化します。それぞれのステータス（現在状況）は以下のようになります。



⚠ ご注意！

画面表示位置について

本書ではPCモニターに接続した場合を例に説明しています。

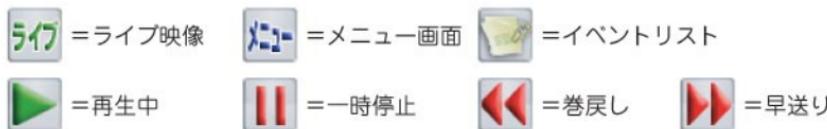
表示されているアイコン表示の意味はモニターが異なっても同じです。

マウス操作に関してはマウス操作の項をご覧ください。

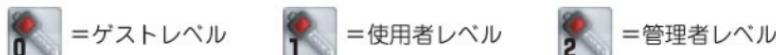
DVRステータス



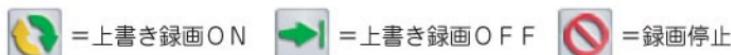
[A : 現在画面表示] 現在表示している画面を表します



[B : パスワードレベル] 現在のパスワードレベルを表します



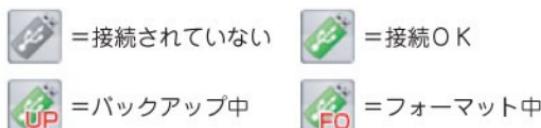
[C : 録画モード] 現在の録画設定を表します



[D : 使用言語] 現在使用している言語を表示します



[E : USBメモリ] バックアップ用のUSBメモリの状態を表します



主な操作(クイックガイド2)――

[F : HDDカバー] HDDカバーの状態を表します



=HDDカバーOK



=HDDカバーが開いています

[G : HDD認識] HDDの状態を表します



=HDD正常



=HDD認識エラー

[H : ネットワーク接続] 本機がネットワークに接続しているかを表します



=ネットワークに接続



=ネットワークに接続していません

HDD使用量

現在のHDD使用量を表示します

※上書き録画中は常時100%の表示になります



カメラ別ステータス

各カメラC Hの状況を表示します

I J K L



[I : カメラ番号] カメラのC Hを表します

1 = カメラ1

2 = カメラ2

3 = カメラ3

4 = カメラ4

[J : 録画状態] 現在の録画状態を表します



= 通常録画



= モーション検知 / 録画



= アラーム検知 / 録画

[K : 録画フレーム] 現在設定されている録画時のフレームレートを表します

X = 録画停止

2 = 2 fps

3 = 3 fps

5 = 5 fps

7.5 = 7.5 fps

10 = 10 fps

15 = 15 fps

30 = 30 fps

[L : 録画画質] 現在設定されている録画時の画質を表します

1 = 画質1 (長時間)

2 = 画質2 (時間優先)

3 = 画質3 (標準)

4 = 画質4 (きれい)

5 = 画質5 (高精細)

主な操作(クイックガイド2)――

◎映像の録画について

本機の初期設定では電源が入りHDDが認識されると自動的に録画を開始します。

録画設定を変更しない場合は下記の工場出荷時設定のまま録画が行われます。

録画設定を変更する場合は各種設定（メニュー操作）「録画」の項をご覧ください。

工場出荷時の録画設定

カメラ番号	カメラ1	カメラ2	カメラ3	カメラ4
フレームレート	10 fps	10 fps	10 fps	10 fps
音声記録	×	×	-	-
解像度	640×240			
画質	3（標準）	3（標準）	3（標準）	3（標準）
上書き録画	ON			

●見たいCHを表示する（全画面／個別表示）

画面を切り替える場合は下記の動作で行います。

[4分割表示]



ボタンを押してください。

[個別表示]



を押すたびに1→2→3→4の順で画面表示が切り替わります。



を押すたびに4→3→2→1の順で画面表示が変わります。

ワンポイントアドバイス！

個別表示画面について

本機は4分割状態で各チャンネルの等倍表示が可能です。

各チャンネルを個別に表示した場合は2倍に拡大した状態で表示されます。

主な操作(クイックガイド2)――

◎記録した映像を再生(日時指定)

操作手順――

1. ライブ画面で  を押すと日時指定画面が表示されます。



2.  で再生したいCHを選択します。

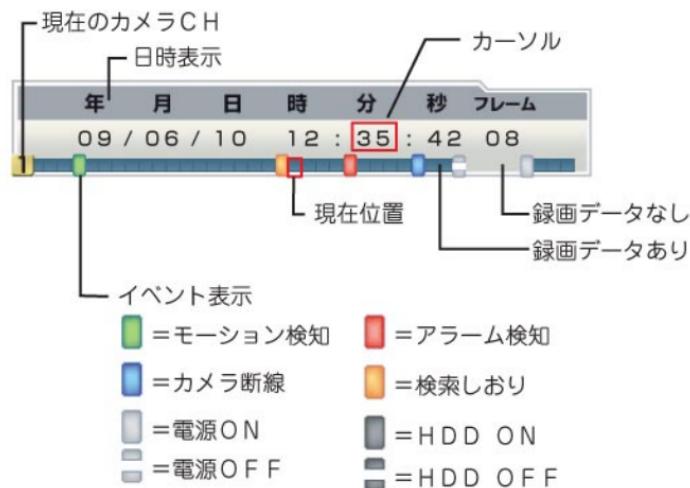
3.  で”日/時/分/秒/フレーム”にカーソルを合わせ、 を回して日時を指定します。

3. 再生したい日時を指定したら  を押してください。

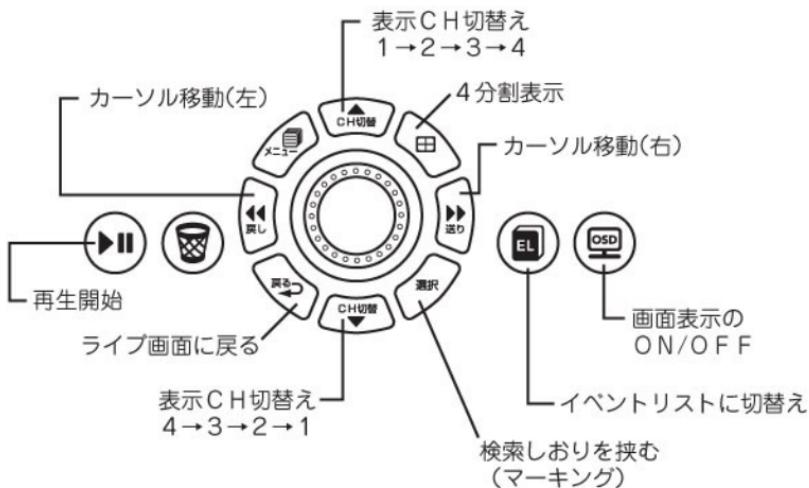
4. 再生が始まります。

■再生をやめるには  ボタンを押します。

画面の見方



日時指定画面の操作



主な操作(クイックガイド2)――

◎記録した映像を再生(イベント指定)

操作手順――

1. ライブ画面で  を押すとイベントリストが開きます。

No.	Event	Date	Time	Device
1	1	09/03/11	10:10:10	HDD
2	2	09/03/10	9:00:54	HDD
3	1	09/03/08	21:11:51	HDD
4	ON	09/03/03	02:03:12	HDD
5	OFF	09/03/03	01:25:54	HDD
6	3	09/02/25	23:59:47	HDD
7	4	09/02/14	18:45:07	HDD
8	ON	09/01/06	08:42:23	HDD

2. 過去に発生したイベントリスト表示されますので見たいイベントに

  または  でカーソルをあわせて  を押します。

3. イベントの開始地点より映像の再生が始まります。

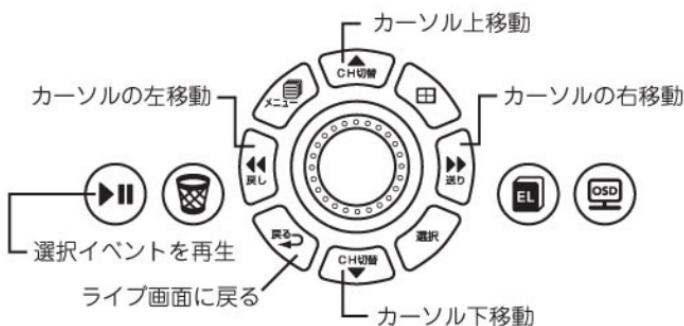
■再生をやめるには  を押します。

画面の見方

No.	Event	記録日時	記録ストレージ
1	1	09/03/11 10:10:10	HDD
2	2	09/03/10 9:00:54	HDD
3	1	09/03/08 21:11:51	HDD
4	ON	09/03/03 02:03:12	HDD

説明:
イベント番号
イベント種類
カメラCHまたはON/OFF
記録日時
記録ストレージ

イベントリスト画面の操作



主な操作(クイックガイド2)――

イベント記録

本機はカメラの断線やアラーム検出等が行われると自動的にイベントリストに記録します。記録される情報は以下の7種類です。



= モーション検知



= アラーム検知



= カメラ断線



= U S B のデータ



= 電源のON/OFF



= HDDのON/OFF



= 検索しおり

ワンポイントアドバイス！

本機は記録中に発生したイベントを合計で4094件記録することができます。

イベント記録はイベントが発生した時点で自動で記録されます。

4094件を超えてイベントが発生した場合は自動で古いイベントが消去され新しいイベントが上書きされます。

検索しおり機能

映像再生中または一時停止中に  を押すと気になる箇所にしおりを挟む（マークリング）ことが出来ます。

ワンポイントアドバイス！

挟んだしおりはイベントリストに保存されますので、気になる箇所にしおりを挟んでおけばいつでも見たい箇所をイベントリストからすぐに再生することが出来ます。

●マウス操作について

本機は付属のU S Bマウスを接続してマウス操作で本機を動かすことができます。

マウスの接続

- 1.本機前面のU S Bポートに付属のマウスを接続します。
- 2.しばらくすると画面上にマウスカーソルが表示されマウス操作が可能になります。

⚠ ご注意！

マウスを接続してしばらくたってもマウスカーソルが表示されない場合はマウスを接続した状態で本機を再起動してください。

マウスでの操作方法

マウスカーソルを移動させ画面下部に表示されているマウス用ツールバーのアイコンをクリックするとそれぞれの操作が行えます。



各アイコンの動作

- | | |
|-------------|--------------------|
| ① C H 1 を表示 | ⑦ カーソル左移動 |
| ② C H 2 を表示 | ⑧ 再生 / 一時停止 |
| ③ C H 3 を表示 | ⑨ カーソル右移動 |
| ④ C H 4 を表示 | ⑩ イベントリスト表示 |
| ⑤ 4分割表示 | ⑪ リスト削除 |
| ⑥ メニューを開く | ⑫ 画面表示 O N / O F F |

マウスでのメニュー操作

メニュー画面では、カーソルを移動させてアイコンを直接クリックして操作可能です。また、右クリックをすると一つ前の項目に戻ります。

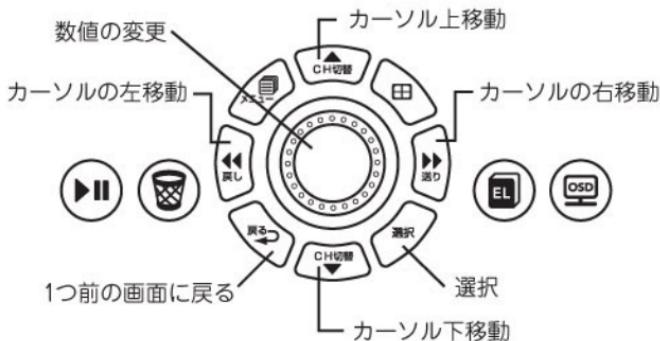
●メニュー画面の操作

ライブ画面で  を押すとメニュー画面が表示されます。

メニュー画面からは本機の各種設定が行えます。



メニュー画面の操作



ワンポイントアドバイス！

本機は設定を変更した時点でそれぞれ設定が反映されます。
変更した数値を別途保存する必要はありません。

カメラの画質調整

○カメラの画質調整

この項目ではカメラの画質を調整できます。

調整できる項目は以下の4項目です。

輝度(明るさ)

色合い(色のバランス)

コントラスト(くっきり感)

濃度(色の濃さ)

操作手順

1.  を押してメニュー画面を開きます。
2.  で  に合わせて  を押します。
3. 調整したいカメラCHにカーソルを合わせて  を押します。



4. 調整したいカメラの項目に   でカーソルをあわせ  で数値を変更します。

5. 変更したら  で前の画面に戻ります。

⚠ ご注意！

画質調整は、本機を通して表示/録画を行った場合に反映されます。

カメラ自体の画質は調整しておりませんのでご注意ください。

また、カメラ自体に画質の調整機能がある場合は先にカメラ本体の画質調整を行うことをお勧めいたします。

システム設定

○システム設定について

この項目では本機のシステムに関する設定の確認・変更が行えます。
システム設定画面を開くには

1. ライブ画面で  を押す
2.   で  に合わせ  を押すと表示されます

工場出荷時設定に戻す

工場出荷時のメニュー設定に戻すことが出来ます。
この項目で初期化される内容はメニュー画面で設定した以下の項目です。



カメラ



アラーム



録画設定



ネットワーク

操作手順

1. "メニュー画面" から "システム" を開きます
2.   で "工場出荷設定" にカーソルを合わせ  を押す
3. "はい/いいえ" が表示されますので "はい" に合わせて  を押す
4. 設定値がリセットされます

⚠ ご注意！

工場出荷時の設定に戻してしまうと以前の設定には復元できませんのでご注意ください。

言語 (LANGUAGE)

表示言語を変更することが出来ます。

操作手順

1. "メニュー画面" から "システム" を開きます
2.   で "言語 (LANGUAGE)" にカーソルを合わせます
3.  を回して表示したい言語に合わせます
4.  を押して終了すると言語表示が変更されます

⚠ ご注意！

本機は日本語表示を前提に設計されています。
ご使用の際は日本語設定をご利用ください。

NTSC / PAL 選択

映像信号を NTSC 方式と PAL 方式に切替えることが出来ます。
この項は初期設定がオートに設定されておりますのでお客様で設定を変更する必要はありません。

⚠ ご注意！

設定変更後に本機を再起動させると設定が反映されてしまいます。
万が一 PAL 方式に変更された場合は、設定を "オート" に合わせて本機を再起動してください。

システム設定

ボタン操作音

ボタン操作時の音のON/OFFを設定できます。

操作手順

1. "メニュー画面"から"システム"を開きます
2.   で"ボタン操作音"にカーソルを合わせます
3.  を回して"○" "X"を変更します

■初期設定は"○"に設定されています

映像出力設定（PCモニター）

PCモニター利用時の映像出力を変更できます。

ログイン方法

1. “メニュー画面”から“システム”を開きます

2.   で “映像出力設定”にカーソルを合わせて  を押します



3. “出力解像度”にカーソルを合わせ  を回して解像度を設定します

4. 設定したら   で “解像度更新”にカーソルを合わせ  を押す

5. 設定の解像度で画面が表示されますので変更を行う場合は “はい”にカーソルを合わせ  を押すと変更されます

ワンポイントアドバイス！

出力解像度は映像をきれいに見るために、出来るだけ高解像度に設定されることをお勧めいたします

⚠ ご注意！

“解像度更新”を選択した際に画面が表示されない場合、お使いのモニターが設定解像度に対応していません

その際は、自動的に以前の設定に戻りますので暫くお待ちください
状況に応じて自動的に再起動がかかる場合があります

システム設定

映像出力設定（TVモニター）

TVモニター利用時の映像出力設定を変更できます。

ログイン方法

1. “メニュー画面”から“システム”を開きます

2.   で“映像出力設定”にカーソルを合わせて  を押します

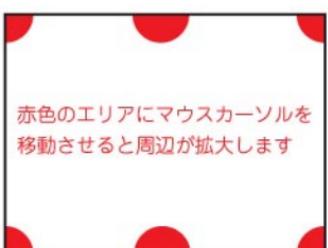
映像X軸中央	60	横軸の中心位置を調整
映像Y軸中央	20	縦軸の中心位置を調整
映像X軸ズーム	230	横軸の画面サイズを調整
映像Y軸ズーム	225	縦軸の画面サイズを調整
映像をズーム有効		
ツールバーをズーム有効		マウス操作時のズーム機能を有効にします
メニューをズーム有効		

3.   でそれぞれの項目にカーソルを合わせ  を回して設定を変更できます

ワンポイントアドバイス！

TVモニター使用時は画面表示が見づらくなる場合があるのでズーム機能は有効に設定していただくことをお勧めいたします。

ズーム機能を有効にしている場合はマウスカーソルを所定の位置(右図)に移動させると周辺が拡大されます。



赤色のエリアにマウスカーソルを移動させると周辺が拡大します

日付 / 時間の設定

日時の設定が行えます。

操作手順

1. "メニュー画面" から "システム" を開きます

2.   で "日付 / 時間設定" にカーソルを合わせて  を押します

3. さらに "日付 / 時間" にカーソルを合わせて  を押します

表示順序	年/月/日			日時の表示順序
日付	2009	8	22	日付
時間	10	25	30	時刻(時:分:秒)
更新して終了				

4.     で変更したい項目にカーソルを合わせ  を回して

数値を変更します

4. 日時の変更が終了したら "更新して終了" に合わせ  を押すと日時が反映さ

れて設定が終了します

ワンポイントアドバイス！

AD-N4シリーズの時計精度は "月差 +50 秒" です。

防犯上、時刻表示は大事なものになりますので2~3ヶ月に1度、現在時刻を確認し時計の設定を更新して頂くことをお勧めいたします。

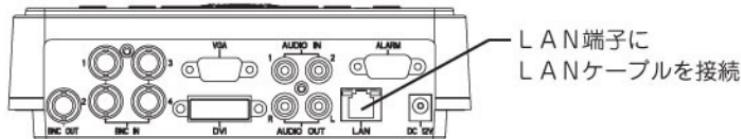
また、本機はインターネットを経由し NTP サーバーを利用して時計の精度を高めることができます。※設定方法は次ページをご確認ください。

システム設定

精度の高い日時設定（NTPサーバーを利用）

NTPサーバーを利用した精度の高い日時設定が行えます。

操作手順



1. 本機後面の LAN 端子にインターネット環境に接続できる LAN ケーブルを接続します

2. "メニュー画面" から "システム" を開きます

3. で "日付 / 時間設定" にカーソルを合わせて を押します

日付/時間	
GMT設定	GMT+9:00
サマータイム	+0
NTPサーバー	NIST

4. カーソルを移動させ "GMT 設定" を [GMT+9:00] に合わせます

5. カーソルを移動させ "サマータイム" を [+0] に合わせます

6. カーソルを移動させ  を回して NTP サーバーを選択します

■ NTP サーバーは "NIST" "MST" の 2 種類が設定可能です

■ NTP サーバーを利用しない場合は "オフ" に設定してください

ワンポイントアドバイス！

NTP サーバーを利用した場合は 1 日に数回時刻の更新が行われますので精度の高い時刻表示が可能です。

NTP サーバーはどちらを利用しても大きな違いはありません。

※万が一時刻に誤差が発生する場合は現在利用中の NTP サーバーとは別のサーバーを設定してください。

ご注意！

本機は初期設定の状態で一般的なネットワーク環境にアクセスできるように設定されておりますが、NTP サーバー機能を設定しても日時の更新が行われない場合、お使いのインターネット環境と本機の IP アドレスが一致していない場合があります。

その際は本機の IP アドレスをご使用の環境に合わせて設定する必要があります。

本機の IP アドレス設定方法は本書のネットワークの項をご参照ください。

また、ご利用の環境にネットワーク管理者が存在する場合はネットワーク管理者に設定を依頼してください。

時計再設定時のご注意

時計時刻の再設定時、録画記録は以下のように修正されますのでご注意ください。

現在時刻より先の時刻に設定：録画データに空白時間が発生します。

現在時刻より前の時刻に設定：古いデータに新しいデータが上書きされます。

システム設定

パスワード

パスワードに関する設定をすることができます。

パスワード設定を変更するには操作時に管理者 ID でログインする必要があります。

工場出荷時の使用者 / 管理者パスワード

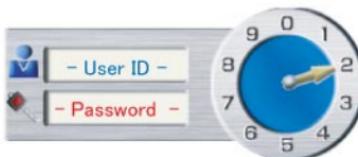
使用者 ID (ID1) パスワード: 1111

管理者 ID (ID2) パスワード: 2222

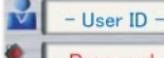
ログイン方法

1. "メニュー画面" から "システム" を開きます

2.  で "User ID" を選択して、
 で "Password" を選択して、
CH切替ボタンで "パスワード設定" にカーソルを合わせて  を押します



3. 管理者 ID (ID2) の入力を求められますので  を回して "2" に合わせ
 を押します

4. 次にパスワードの入力が求められますので  で数値を合わせ
 で  を選択して、
管理者 ID 用のパスワードを入力します

5. 正しくログインできれば "パスワード設定" 画面が表示されます。

[パスワード管理]

パスワード管理を“○”にすると本機使用時に3段階の使用権限が設定されます。



=ゲストレベル：ライブ映像の確認のみ



=使用者レベル：パスワード変更以外の全ての機能



=管理者レベル：全ての機能

操作手順

1. メニュー>システムを選択しカーソルを“パスワード”にあわせて  を押す
2. “管理者ID(ID2)”を入力してログインします
4. パスワード設定にカーソルを合わせて  を回して“○”にします

■パスワード管理を無効にするには  を回して“X”にしてください

ワンポイントアドバイス！

パスワード管理機能を“○”にするとライブ画面以外を利用する際にパスワードダイアログが表示され“ID”と“パスワード”を入力する必要があります。

ログアウト方法

ログイン中にライブ画面で“戻る”キーを2回押すとログアウト（ゲストレベルに戻る）します。

また、ログイン中に約20秒間何も操作を行わない場合も自動でログアウトします。

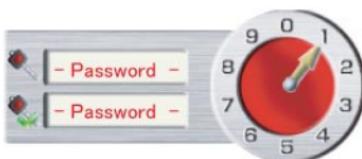
システム設定

[パスワードの変更]

使用者（ID1）または管理者（ID2）のパスワードを変更できます。

操作手順

- メニュー>システムを選択しカーソルを“パスワード”にあわせて  を押す
-   でパスワード変更したいID（使用者／管理者）にカーソルを合わせて  を押します。
- パスワードダイアログが表示されます



- 表示されたダイアログに新しいパスワードを入力します。（4桁）
- カーソルが下に移動するので確認用に新しいパスワードを再入力します。（4桁）
- “パスワードを変更されました！”と表示が出れば完了です

■使用者（ID1）の初期設定パスワードは“1111”です

■管理者（ID2）の初期設定パスワードは“2222”です

情報

現在のシステム状況の確認が可能です。

操作手順

1. メニュー>システムを選択しカーソルを”情報”にあわせて  を押す
2.   で”情報”にカーソルを合わせて  を押します
3. システム情報が表示されます

■終了する場合は戻るを押します。

表示される情報

Software =ソフトウェアのバージョン

Hardware =ハードウェア情報

Disk =ハードディスクの使用状況

Network =現在のネットワーク設定

ワンポイントアドバイス！

ライブ画面のときに”選択”キーを2回連続で押すとすぐに情報表示が行えます。

録画設定

○録画設定について

この項目では本機の録画に関する設定が行えます。

録画設定画面を開くには

1. ライブ画面で  を押す
2.   で  に合わせ  を押すと表示されます

録画品質について

録画時の映像品質はフレームレート・画質・解像度の3要素で成り立っています。それぞれを設定することで録画映像の品質と録画できる時間が変化します。

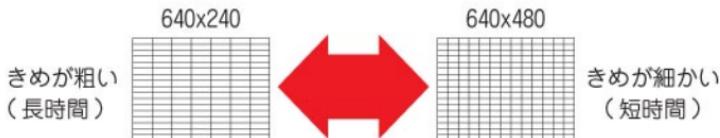
フレームレート（映像の滑らかさ）



画質（記録映像の鮮明さ）



解像度（画面のきめ細かさ）



それぞれの設定方法は各設定の項をご覧ください

録画設定

フレームレート設定

フレームレートを各CHごとに3種類の設定が可能です。
フレームレートを変更すると画面の滑らかさが変わります。

設定できるフレームレートの種類

アラーム：アラーム発生またはモーション検出時の記録フレームレート

A時間：A時間帯の記録フレームレート

B時間：B時間帯の記録フレームレート

※A/B時間帯の詳細についてはスケジュールの項をご覧ください。

操作手順

1. メニュー>録画を選択します

アラーム[fps]	15	15	15	15
A時間[fps]	10	10	5	5
B時間[fps]	5	5	3	3

2. で変更したい項目にカーソルを合わせ を回して数値を変更します

■フレームレートは X or 0/2/3/5/7.5/10/15/30 で設定可能です

■数値を変更するだけで設定が反映されます

※Xまたは0に設定した場合は録画を行いません

※30fpsは解像度640x240に設定した場合のみ選択可能です

フレームレートとは？

フレームレートとは動画の記録・再生時に1秒間に何回画面を書き換えることができるかを表す数値。

単位はfps(frame per second)で表示。

フレームレートが30fpsの場合、1秒間に30回描画が行なわれます。

この数値が高いほど映像は滑らかで大容量になり、数値が低いほどコマ送りで小容量の映像になります。

防犯カメラの記録装置では記録時間と画質のバランスを考慮して

一般的に5～15fps程度で記録されます。

ワンポイントアドバイス！

高速に動く被写体を録画したい場合はフレームレートをあげてください。

フレームレートが低いとコマ落ちが発生し必要な映像が抜け落ちて録画される場合があります。

確実な証拠映像をご希望の場合は“10fps”以上で録画することをお勧めいたします。

録画設定

画質

画質をカメラCHごとに設定できます。
画質を変更すると録画映像の鮮明さが変わります。

操作手順

- メニュー>録画を選択します



- で変更したい項目にカーソルを合わせ  を回して数値を変更します

■画質は5段階で設定可能です

 =長時間  =時間優先  =標準  =きれい  =高精細

■フレームレートを30fpsに設定した場合は、画質4までとなります

ワンポイントアドバイス！

画質を変更する際はあらかじめ変更した画質の映像を5分ほど録画し、一度再生して画質を確認すると確実です

確実な証拠映像をご希望の場合は”3(標準)”以上で録画することをお勧めいたします。

音声

音声のON/OFFを設定できます。

音声はCH1とCH2に設定することができライブ/記録の両方に反映されます。

操作手順

- メニュー>録画を選択します



- CH切替
CH切替
戻し
戻りで変更したいカメラCHにカーソルを合わせ
を回して“○” “X”を変更します

■音声記録をしない場合や音声出力の無いカメラは“X”にしてください

ワンポイントアドバイス！

音声は設定したCHを個別表示にした場合に再生されます。

4分割で表示中は音声再生されません。

記録映像の再生時も同様です。

録画設定

解像度

録画時の解像度を設定できます。

解像度を変更すると映像のきめ細かさが変わります

操作手順

1. メニュー>録画を選択します

2.   で“解像度”にカーソルを合わせ  を回して“解像度”を変更します

解像度 640x240

■解像度は 640x240 と 640x480 の2種類が設定可能です

ワンポイントアドバイス！

H.264コーデックは特性上、高速に動く被写体を録画した際、横にブレたように記録される場合があります。

この場合、解像度を 640x240 に設定するとブレが発生しなくなります。

録画の被写体に応じて解像度を使い分けて頂くとより効果的です。

記録モード

記録方法が設定できます。

記録方法は、上書き録画ON/OFF・録画停止の3種類です。

操作手順

1. メニュー>録画を選択します

2.   で“記録モード”にカーソルを合わせ  を回して

“記録モード”を変更します



■記録モード3種類が設定可能です



=上書き録画ON



=上書き録画OFF



=録画停止

ワンポイントアドバイス！

初期設定では“上書き録画ON”に設定されています。

常に最新の録画状況を保てるように上書き録画ONの状態にしておくことをお勧めいたします。

録画設定

スケジュール

スケジュールでは1週間を30分ごとにA時間とB時間に分けて設定・記録することができます。

操作手順

1. メニュー>録画を選択します

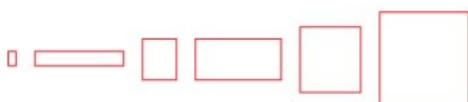
2.   で“スケジュール”にカーソルを合わせ  を押すとスケジュール設定画面が表示されます



3.     でカーソルを移動させ  を押すとA/B時間の切替えが行えます

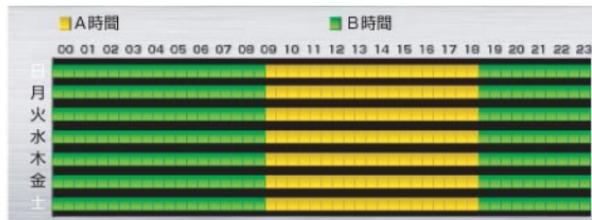
ワンポイントアドバイス！

スケジュール設定画面でジョグダイヤルを右に回すと選択範囲の拡大ができます。反対にジョグダイヤルを左に回すと縮小します。



スケジュール設定例1

9：00～18：00までを記録 18：00～翌9：00までを記録しない場合
スケジュールを以下のように設定しB時間帯のフレームレートを0にします



スケジュール設定例2

月曜から金曜までを記録 土曜日曜を記録しない場合
スケジュールを以下のように設定しB時間帯のフレームレートを0にします



スケジュール設定例3

平日の21:00～8:00と土日を15fps、それ以外を5fpsで記録する場合
スケジュールを以下のように設定し
A時間のフレームレートを"15" B時間帯のフレームレートを"5"にします



録画設定

ディスクフォーマット

ハードディスクのフォーマット（記録内容の全消去）が行えます。

操作手順

1. メニュー>録画を選択します
2.   で”ディスクフォーマット”にカーソルを合わせ  を押す
- 3.”はい” にカーソルをあわせ  を押すとハードディスクがフォーマットされます。

⚠ ご注意！

ハードディスクをフォーマットした場合フォーマット前のデータは復元できなくなりますのでご注意ください。

かんたん録画時間表示

メニュー>録画を開くと一番下の段に下記のような表示があります。

これは、"かんたん録画表示"といい現在の設定でどのくらいの時間記録することができるかを表示しています。



かんたん録画時間表示は、設定された記録設定を自動分析してリアルタイムで更新しています。

この表示を利用すれば、録画したい時間を決めて画質やフレームレートを設定したり、あらかじめ希望の画質を設定し何時間の録画が可能かすぐに確認することが出来ます。

ワンポイントアドバイス！

この機能は予測値で表示されます。

録画内容によっては実際の表示時間と録画可能時間に差が出る場合があります。

目安としてご利用ください。

この表示は録画開始後、一日程度経過すると実際の記録可能時間に近くなります。

アラーム

○アラームについて

この項ではビデオロス検知/モーション録画/外部センサー入力/外部アラーム出力に関する設定を行うことが出来ます。

アラーム設定画面を開くには

1. ライブ画面で  を押す

2. カーソルを  に合わせ  を押すと表示されます

○プリアラーム機能

本機のアラーム録画はアラーム検出時から3～10秒さかのぼって過去の映像を記録することができる”プリアラーム”機能を搭載しています。

モーション検知や外部センサーが動作した際に、アラーム発生直前の時間を記録して映像確認することが可能です。

本機の”プリアラーム”時間(3～10秒)は本機の稼動状況によって自動的に設定されます。

※本機の”プリアラーム”機能は解除することができません。

●アラームの種類

本機で利用できるアラームの種類は以下の通りです。
それぞれ必要に応じて設定することが可能です。

ビデオロス

ビデオロス(断線検知)を検知してお知らせする機能です。

モーション録画

画面上の動きを検出してその時間帯を録画する機能です。

外部センサー入力

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。

※外部センサーは接点出力のセンサーが利用可能です。

※当社では外部センサーを発売しておりません。

外部アラーム出力

アラームの発生時にサードパーティ製の外部アラームに出力する機能です。

※外部アラームは接点出力(N O/N C)のセンサーが利用可能です。

※当社では外部アラームを発売しておりません。

アラーム(ビデオロス)――

ビデオロス検知

カメラケーブルの断線を検知してお知らせします。

ビデオロスが発生した場合、該当するCHの画面上に ビデオロス と表示されます。

操作手順

1. ライブ画面からメニュー>アラームを選択します



2. で変更したいカメラCHにカーソルを合わせます
3. を回して"○" "X"を選択します

■初期設定では全てのCHが"○"になっています

ワンポイントアドバイス！

この機能はカメラの映像信号が本機に届かなくなった場合に作動します。

画面上に"ビデオロス"と表示された場合は、カメラケーブルの切断やカメラへの電源供給の有無、連結コネクタの緩み・抜けがないかをご確認ください。

使用していないCHがある場合はビデオロス発生時に混乱を招かないようビデオロス検知を"X"にして頂くことを推奨します。

ご注意！

使用していないCHのビデオロス検知が有効になっていると画面上に"ビデオロス"マークが表示され続けます。

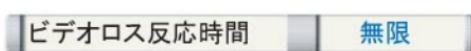
本機起動時よりビデオロスが発生している場合はアラーム音は発生しません。

ビデオロス反応時間

ビデオロスが発生した場合の警告音の鳴動時間を設定できます。

操作手順

1. ライブ画面からメニュー>アラーム>アラーム入力&出力を選択します
2.   で”ビデオロス継続時間”にカーソルを合わせます

 ビデオロス反応時間 無限

3.  を回して時間を選択します

■初期設定では継続時間が”無限”に設定されています

■設定時間は 0/3/5/10/30/60/120/180/無限（秒）が設定可能です

ワンポイントアドバイス！

ビデオロス発生の場合、すぐに問題箇所の修復と映像の確認をすることが大切です。万が一のトラブル時に遅く発見が出来るよう、継続時間は”無限”に設定しておいて頂くことをお勧めいたします。

⚠ ご注意！

本機起動時よりビデオロスが発生している場合、警告表示は発生しません。

警告音を”×”に設定している場合、警告音は発生しません。

カメラ映像が表示されなくなっている間、カメラ映像は記録されません。

アラーム(モーション録画)

モーション録画設定

モーション録画のON/OFFを設定できます。

モーション探知を有効にした場合、モーション録画が働きます。

操作手順

1. ライブ画面からメニュー>アラームを選択します

2.   で“モーション探知有効”にカーソルを合わせます



3.   で変更したいカメラCHにカーソルを合わせて  を回して
“○” “X”を選択します

■初期設定では全てのCHが“X”になっています

ワンポイントアドバイス！

モーション録画は画面上の動きを解析して検知を行います。

検出の精度を高めるために検知感度/検知エリアの設定も可能です。

ご注意！

モーション探知録画は、画面上で発生する動体(人間/動物/植物/機械/車など)全てに平等に反応します。

そのため特定の動体(人の動き等)に絞って検出を行うことは難しくなっています。
より確実な録画を行う場合は、外部センサーを利用されることをお勧めします。

検知エリアと感度設定

モーション録画を行う際の検知エリアと感度を設定できます。

検知エリアと感度はカメラ毎に設定可能です。

操作手順

1. ライブ画面からメニュー>アラームを選択します
2.   で”モーション設定”にカーソルを合わせ  を押します
3. 変更したいカメラCHにカーソルを合わせて  を押します
4. エリア設定画面が表示されますので検知エリアと感度を設定します

操作方法は次ページをご覧ください

■設定が終了したら  を押して終了します

ワンポイントアドバイス！

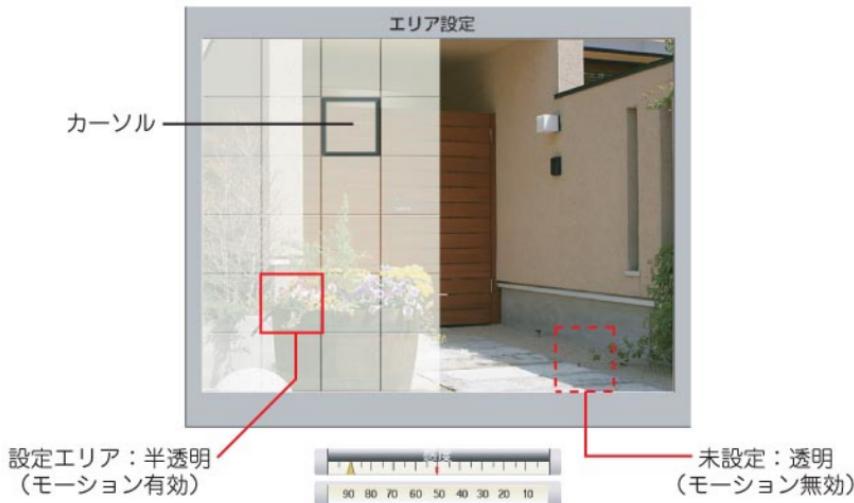
検出エリアは8×6(48マス)で設定可能です。

また、感度は100段階で設定可能です。

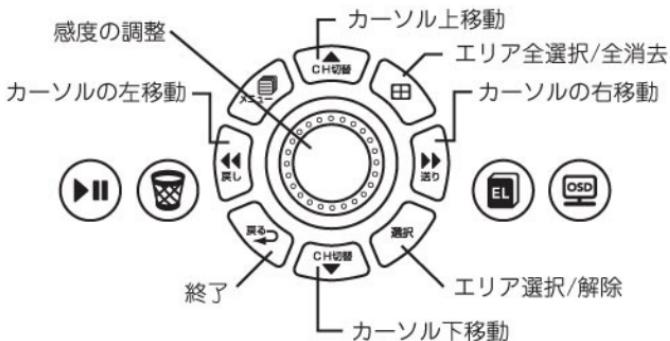
アラーム(モーション録画)

エリア設定画面

モーション録画の検知エリアと感度を設定できます。
設定したエリアに対してモーション検知が有効になります。



エリア設定画面の操作



検知感度の設定

感度設定は”動体メーター”を見ながら  を回して行います

”動体メーター”が検知レベルを超えた時に録画が開始され、履歴がイベントリストに追加されます



ワンポイントアドバイス！

”動体メーター”は設定するCHの”モーション検知”を有効に設定していないと動きません。

感度設定する場合は事前に設定CHの”モーション検知有効”をONにしてください。
また、”動体メーター”は設定されたエリアに対してのみ有効になります。

アラーム(外部センサー)――

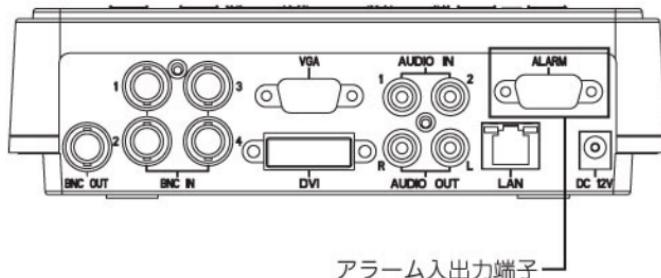
外部センサー録画の設定手順

サードパーティ製の外部センサーを利用して録画を行う機能です。
設定するには以下の手順で行います。

1. 外部センサーの接続 > 2. 入力タイプ > 3. 連動CHの設定
-

1. 外部センサーの接続

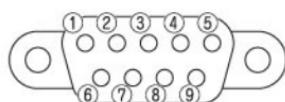
アラームの接続は本機裏面のセンサー入出力端子に外部センサーを接続します。



アラーム入出力端子

本機のアラーム入出力端子はD-SUB 9ピン(オス)です。
端子のピン配列は以下の通りです。

ピン配列

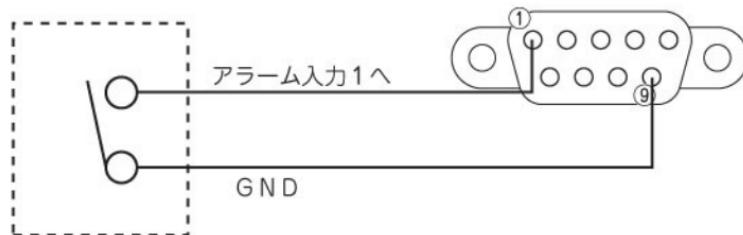


①センサー入力 1	⑥アラーム出力(N O)
②センサー入力 2	⑦アラーム出力(N C)
③センサー入力 3	⑧使用しません
④センサー入力 4	⑨G N D
⑤アラーム出力(COM)	

外部センサーの配線イメージ

下記の図を参考に外部センサーを接続してください。

アラーム入力1へ接続する場合



ワンポイントアドバイス！

外部センサーはN Oタイプ・N Cタイプ(接点出力)が利用可能です。
G N D位置は全入力共用です

アラームオプションのご紹介

センサー/アラームの入力端子をターミナルブロックへ変換するアダプタを別売にてご用意しています。

お求めの際は、当製品をお買い上げの販売店にご注文頂くか当社に直接お問合せください。

ターミナルブロック
変換アダプタ

TBC-01



アラーム(外部センサー)――

2. 入力タイプ(メニュー操作)

外部センサーを接続したらメニュー画面から接続された外部センサーの種類(入力タイプ)を設定します。

操作手順――

1. ライブ画面からメニュー>アラーム>アラーム入力&出力を選択します

2.   で”入力タイプ”にカーソルを合わせます



3.  を回して接続しているアラームの種類を選択します

■アラームタイプは以下の3種類が設定可能です

NC =ノーマルクローズ **NO** =ノーマルオープン **OFF** =使用しない

■初期設定では全て”OFF”に設定されています。

⚠ ご注意！

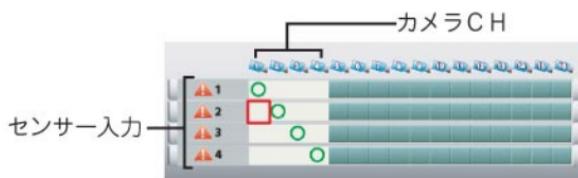
アラーム機能を利用する場合は事前に外部センサーを本機へ接続しておく必要があります。

3. 連動CHの設定（メニュー操作）

外部センサーの種類を設定したら、センサー入力時にどのCHと連動させるか設定します。本機はセンサー入力を任意のCHに設定可能です。

操作手順

- ライブ画面からメニュー>アラーム>アラーム入力&出力>入力設定を選択



- CH切替
CH切替
戻し 戻り で“センサー入力”と連動したいカメラCHが交差する位置にカーソルを合わせ 選択 を押すと 表示がされ連動CHが設定されます

■初期設定では以下のように連動CHが設定されています

カメラ1 = センサー入力1 カメラ2 = センサー入力2

カメラ3 = センサー入力3 カメラ4 = センサー入力4

ワンポイントアドバイス！

設定された連動CHは録画の項で設定した“アラーム[fps]”のフレームレートで録画されます。連動CHを設定しない場合、アラームが発生しても録画は行われません。また、一つのセンサー入力に複数のカメラCHを設定することも可能です。

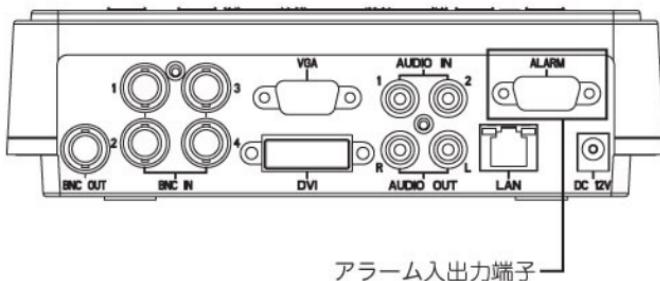
アラーム(外部アラームへ出力)――

外部アラームへの接続

本機はアラーム(カメラ断線/モーション/外部センサー)の発生時に外部のアラームへ出力することができます。

接続はアラーム入出力端子に外部アラームを接続します。

※本機と接続できる外部アラームは接点方式のN OまたはN Cタイプの製品です。

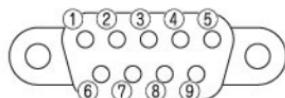


アラーム入出力端子

本機のアラーム入出力端子はD-S U B 9ピン(オス)です。

端子のピン配列は以下の通りです。

ピン配列

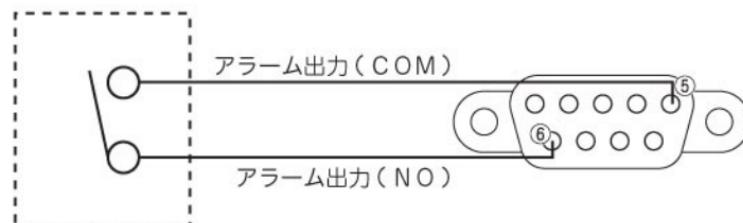


- | | |
|----------------|----------------|
| ①センサー入力 1 | ⑥アラーム出力(N O) |
| ②センサー入力 2 | ⑦アラーム出力(N C) |
| ③センサー入力 3 | ⑧使用しません |
| ④センサー入力 4 | ⑨GND |
| ⑤アラーム出力(COM) | |

外部アラームの配線イメージ

下記の図を参考に外部アラームと接続してください。

NO (Normal Open) のアラームへ接続する場合



ワンポイントアドバイス！

外部アラームはNOタイプ・NCタイプ(接点出力)が利用可能です。
COM位置は双方で共用となります

アラームオプションのご紹介

センサー/アラームの入力端子をターミナルブロックへ変換するアダプタを別売にてご用意しています。

お求めの際は、当製品をお買い上げの販売店にご注文頂くか当社に直接お問合せください。

ターミナルブロック
変換アダプタ

TBC-01



アラーム(高度な設定)――

警告音

アラーム検知/モーション探知が発生した際に発せられる警告音のON/OFFを設定できます。

操作手順――

1. ライブ画面からメニュー>アラームを選択します
2.   で”警告音”にカーソルを合わせます



3.  を回して”○””X”を選択します

■初期設定では”○”に設定されています

■”X”に設定すると全ての警告音が発せられなくなります

ワンポイントアドバイス！

警告音は、トラブル発生時に警告音を発して周知させることができます。
万が一のトラブル時にすぐ発見ができるよう、警告音は”○”に設定しておいて頂くことをお勧めいたします。

アラーム継続時間

アラーム発生時よりどのくらいの時間アラーム状態を維持するか設定できます。

操作手順

1. ライブ画面からメニュー>アラーム>アラーム入力&出力を選択します
2.  で”アラーム継続時間”にカーソルを合わせます



3.  を回して時間を選択します

■初期設定では継続時間が”20(秒)”に設定されています

■設定時間は 1～255(秒)まで1秒単位で設定可能です

ワンポイントアドバイス！

この設定はアラーム録画/検出CHを拡大表示/警告音と連動しています。

アラーム発生時に設定した秒数の間、アラーム録画/検出CHの拡大表示/警告音の動作が行われます。

それぞれの項目を設定しなかった場合、それぞれの動作は行われません。

⚠ ご注意！

この項目はアラーム発生/モーション探知が発生した場合の継続時間です。

ビデオロスの継続時間はビデオロス継続時間の項で設定してください。

アラーム(高度な設定)――

アラームの詳細設定

ビデオロス/モーション/センサー入力が発生した際の動作をそれぞれ詳細に設定できます。

操作手順――

1. ライブ画面からメニュー>アラーム>アラーム入力&出力>アラーム出力設定を

選択します



2. で“アラームの種類”と“アラーム発生時の動作”が交差する位置にカーソルを合わせ を押して各動作のON/OFFを設定できます

■初期設定では全てが“”に設定されています

ワンポイントアドバイス！

アラーム発生時の動作時間はアラーム継続時間/ビデオロス反応時間で設定された時間がそれぞれ動作します。事前に他の項目を設定されていない場合は、設定が反映されません。

バックアップ

○バックアップについて

A D-N 4シリーズは録画済のデータをU S Bメモリにバックアップすることができます。

バックアップについて

本機に録画済のデータをU S Bメモリにバックアップすることができます。

始めにU S Bメモリを本機に接続してフォーマットしてください

利用できるU S Bメモリ

128MB～8GBまでのU S Bメモリ

※U S Bメモリは市販のものをご利用ください

USBメモリのフォーマット

バックアップを行う際は、始めにUSBメモリを本機に接続してフォーマットする必要があります。フォーマットの手順は以下の通りです。

操作手順

1. USBメモリを用意します

2. USBメモリを本機のUSBポートに差し込みます

3. "USB OK"と表示されたら
カーソルを  に合わせて  を押します



フォーマット

4. "フォーマット"にカーソルを合わせ  を押します

5. "はい"  にカーソルを合わせ  を押します

6. USBメモリがフォーマットされます

ワンポイントアドバイス！

バックアップを行う際は、必ずフォーマットを行ってください。

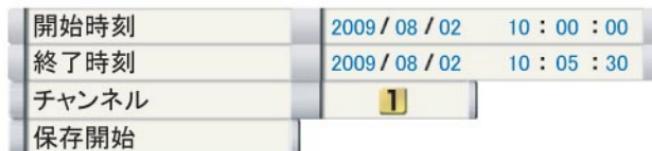
バックアップ

バックアップ方法

録画済のデータをUSBメモリにバックアップ(保存)することができます。
バックアップの手順は以下の通りです。

操作手順

1. あらかじめフォーマットしたUSBメモリを本機のUSBポートに差し込みます
2. "USB OK"と表示されたらメニュー>バックアップを選択します



3. 開始時刻、終了時刻にバックアップしたい時間をそれぞれ入力します
4. 次に"チャンネル"にカーソルを合わせ  でチャンネルを設定します
5. 設定したら"保存開始"にカーソルを合わせ  を押すと
6. バックアップが開始され、終了すると"OK"と表示され元の画面に戻ります

ワンポイントアドバイス！

バックアップしたデータは、保存した日時に沿ってファイル名が生成されます。
例：カメラCH1 2009年01月11日09時25分30秒からのバックアップを開始した場合
ファイル名：ch1_20090111092530.mov

一回で行えるバックアップは1GB以内もしくは30分以内のどちらかになります。
また、USBメモリ内に一度に保存できるファイル数は16までです。

バックアップデータをAD-N4で再生する

本機はパソコンがなくてもバックアップ済みのUSBメモリ挿すとバックアップされたデータを再生することができます。

操作手順

1. バックアップデータが保存されたUSBメモリを本機に接続します

2. (EL) を押して”イベントリスト”を開きます



3. カーソルをUSBの位置に合わせます

4. 表示されたイベントにカーソルを合わせて (▶II) を押すと再生が始まります

■バックアップデータを消去したい場合

イベントリストで消去したいデータにカーソルを合わせ () を押します

■全て消去したい場合はUSBメモリをフォーマットしてください

ワンポイントアドバイス！

USBメモリに保存したデータの再生中は早送りと巻戻しが出来ません。

バックアップ

バックアップデータをパソコンに保存・再生する

バックアップしたデータを再生するには

"QuickTime Player"（クイックタイムプレーヤー）7.0"以降
が必要です。

"QuickTime Player"はアップルコンピューターのWEBサイトより無料でダウンロード可能です。

<http://www.apple.com/jp/quicktime/download/>

操作手順

1. バックアップしたUSBメモリをお手持ちのパソコンに接続します
2. USBメモリが接続されているドライブを開きます
3. USBメモリからパソコン上にデータをコピーします
4. パソコン上に保存したデータを"ダブルクリック"します
5. 再生が始まります

ワンポイントアドバイス！

データのコピーはドラッグ&ドロップ、右クリックからコピーどちらの方法でも利用可能です。

ご注意！

バックアップデータは必ずパソコンに保存したものを再生してください。
USBメモリに保存されたデータを直接再生することは出来ません。

ネットワーク(設定編)――

◎リモートアクセスについて

ネットワークアクセスを利用するとインターネットやローカルネットワークを経由してアクセス元のパソコン上からライブ・再生・バックアップが行えます。

はじめに

本書ではネットワークを通じDVRにアクセスすることを総称して
"リモートアクセス"と表記します。

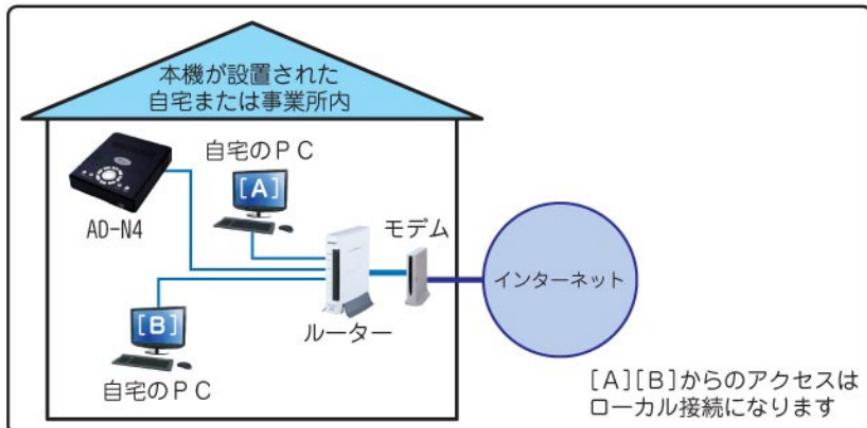
本機で利用可能なリモートアクセスには2種類ありそれを、
"ローカル接続" "グローバル接続"と表記します。

"リモートアクセス"は本機のほかにブロードバンドルーターやインターネット環境等が必要になります。

ご利用環境ごとに必要なものを記載しておりますのでそれぞれご用意ください。

ローカル接続

AD-N4を設置した自宅（事業所）内で本機にアクセス
(インターネットに接続しない)



ご用意が必要なもの

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください。
- ブロードバンドルーター
※IPアドレス変換(NAPT/IPマスカレード)に対応しているもの
- LANケーブル
- DVR、アクセス側PCの双方にインターネット回線(光回線を推奨)

パソコンの最低動作環境

OS	Windows XP または VISTA
CPU	Pentium 4 プロセッサ 2GHz 以上 (またはそれと同等、ただし搭載OSが快適に動作すること)
メモリ	XP:1GB以上 VISTA:2GB以上
HDD	1GB以上の空き容量(バックアップを行う場合はさらに必要です)
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降

ネットワーク(設定編)――

ローカル接続の設定方法

ローカル接続は既存のインターネット環境や他のパソコンとのネットワークを維持したまま本機をネットワークに組み込むことが可能です。

この場合、ローカル環境下にあるパソコン全てから本機にアクセスして映像を見ることが可能になります。

ローカル接続の設定方法は複数存在しますが本項では最も簡単でベーシックな方法を記述します。

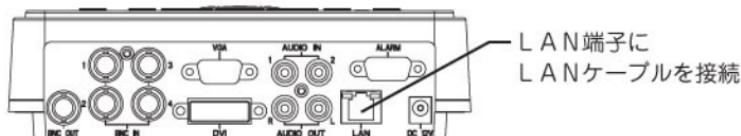
本項を設定の際は本機とお使いのプロードバンドルーター(以下ルーター)の両方の設定を確認・変更することが必要ですのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

また、グローバル接続を行う場合でも最初に本項の設定をする必要があります。

操作手順

配線作業

1. 本機背面の LAN 端子に LAN ケーブルを接続しルーターと接続します



配線作業

2. ルーターとお手持ちのパソコンを LAN ケーブルで接続します

イメージ



PC操作

3.パソコンからルーターにアクセスしIP設定(IP/Sub Net Mask/Gate Way)を確認します。



※ルーターへのアクセス方法はご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。

DVR操作

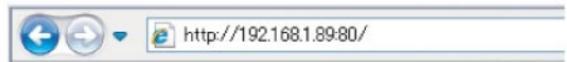
4.次に本機から メニュー>ネットワークを開きIPアドレスを設定します。

	ルーターと同じ			任意のIPアドレスを設定 (DHCP割当て外)
Local IP	192	168	001	089
Sub Net Mask	255	255	255	000
Gate Way	192	168	001	001
DNSサーバー	000	000	000	000
DHCP有効		X		"X"に設定
HTTP Port		80		任意のポート番号 (変更しなくても問題ありません)
アクセス権限				

ネットワーク(設定編)――



5.お手持ちのPCからInternet Explorerを起動し、アドレス欄に設定した本機の
"IPアドレス+ポート番号"を入力し、アクセスします



IPアドレスの入力方法

http://設定IP:ポート番号/

例 IPアドレスが "192 168 001 089" ポート番号が "80" の場合 http://192.168.1.89:80/と入力します

※ポート番号80の場合、ブラウザ上の画面表示は省略されます

※ポート番号を80以外に設定された場合、

IPアドレスの後ろにコロン(:)を入力しポート番号を入力してください



6.ログイン画面が表示されれば設定は完了です

The screenshot shows a window titled 'LOGIN PASSWORD'. It contains two text input fields: one for 'ID:' and one for 'Password:', both with placeholder text. Below the fields is a 'LOGIN' button.

※操作方法や以後の設定については"リモート画面の操作方法"をごらんください

ワンポイントアドバイス！

本機への接続URLをお気に入りに設定しておくと以後の映像確認が簡単です。

本機はネットワークに接続するだけで既存のネットワーク環境すぐに使えるよう、市販のルーターに合わせて初期設定が行われています。

市販のルーター設定を変更されずにお使いの場合は配線後に本機の初期設定状態のIPアドレスを入力すればアクセス可能です。

ご注意！

本機をご利用の事業所等でネットワークの管理者が存在する場合、ネットワーク管理者にお問い合わせの上、管理者の指示通り設定を行ってください。

ネットワーク管理者の方へ

本機で設定するIPアドレス、HTTPポートは任意で設定可能です。

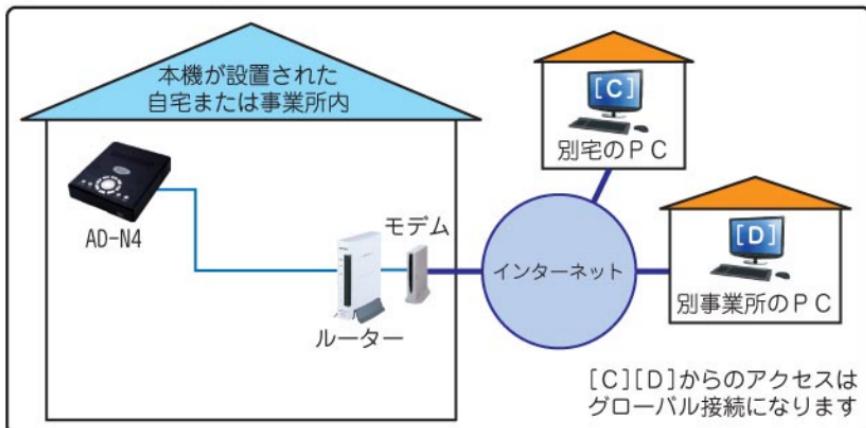
現在ご使用のネットワーク環境でDHCPを利用している場合、本機のIPアドレスはDHCPに割当範囲外のアドレスを設定してください。

その他ネットワーク環境に応じて変更してください。

ネットワーク(設定編)――

グローバル接続

A D-N 4を設置した場所以外から本機にアクセス
(インターネットに接続)



ご用意が必要なもの

- パソコン ※最低動作環境をご確認ください。
- “固定IPアドレス”または“DDNS”的利用
※詳細はご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンドルーター
※IPアドレス変換(NAPT/IPマスカレード)、DDNSに対応しているもの
- LANケーブル
- DVR、アクセス側PCの双方にインターネット回線(光回線を推奨)

パソコンの最低動作環境

OS	Windows XP または VISTA
CPU	Pentium 4 プロセッサ 2GHz 以上 (またはそれと同等、ただし搭載OSが快適に動作すること)
メモリ	XP:1GB以上 VISTA:2GB以上
HDD	1GB以上の空き容量(バックアップを行う場合はさらに必要です)
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以降

グローバル接続の設定方法

グローバル接続は外部(遠隔地)のパソコンよりインターネットを通じ、本機の映像確認ができるようになります。

グローバル接続をご利用の際は、あらかじめ”ローカル接続”を設定して頂く必要があります。

本項のほとんどの設定は本機が設置されているローカル環境のパソコンからルーターの設定を変更する作業になりますのでお使いのルーターの説明書も合わせてご用意ください。

またグローバル接続を行う際はご利用のインターネット環境に加え
”固定IP”または”DDNS”サービスのご利用が必要となります。

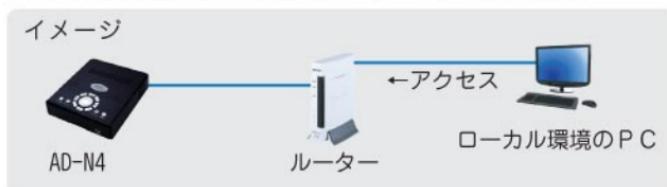
上記サービスのご利用方法は、現在ご利用中のインターネットサービスプロバイダ
(ISP)にお問合せください。

操作手順

- 1.本書P.81を参照の上”ローカル接続”的設定を正しく行ってください



- 2.ローカル環境のパソコンからルーターにアクセスします



※ルーターへのアクセス方法はご利用のルーターの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク(設定編)――



3. ルーターに固定IPアドレスまたはDDNSの設定を行います

※設定方法はご利用のルーターの取扱説明書とISPより提供の設定情報を参照の上行ってください



4. グローバル接続を行った際にローカル環境内に設置された本機にアクセスできるようにアドレス変換(IPマスカレード設定/NAPT)を設定します

アドレス変換は以下表を参考に設定してください

変換対象プロトコル	WAN側アドレス	変換対象ポート
TCP	固定IP または DDNSアドレス	任意※



宛先アドレス	宛先ポート
DVRのIPアドレス	DVRのHTTPポート (初期設定:80)

※DVR側のHTTPポートと同じ設定を推奨

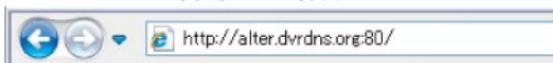


5. アドレス変換設定終了後に本機に対してグローバル接続状態にあるパソコンで
"Internet Explorer"を起動し、アドレス欄に設定した
"固定IP+ポート番号"または"DDNSアドレス+ポート番号"を入力します

固定IP+ポート番号8000の場合



DDNS+ポート番号80の場合



※ポート番号80の場合、ブラウザ上の画面表示は省略されます

※ポート番号を80以外に設定された場合、

IPアドレスの後にコロン（:）を入力しポート番号を入力してください



6. ログイン画面が表示されれば設定は完了です

LOGIN PASSWORD	
ID:	<input type="text"/>
Password:	<input type="password"/>
<input type="button" value="LOGIN"/>	

※操作方法や以後の設定については"リモート画面の操作方法"をごらんください

ネットワーク(設定編)――

ワンポイントアドバイス！

アドレス変換の方法はご使用のルーターメーカーによって異なりますが各社で下記の項目より設定可能です。

バッファロー社製：アドバンスト>ネットワーク設定>アドレス変換

コレガ社製：詳細設定>バーチャルサーバ

NTT純正ルーター：詳細設定>静的IPマスクカレード設定>NATエントリ編集

※2009年8月現在の情報に基づいています。

ご注意！

ルーターの機種によっては上記メーカーの機種であっても内容が異なる場合がありますのでアドレス変換に関する詳細はご使用のルーターの取扱説明書をご覧頂くかルーターの販売元に直接お問い合わせください。

◎リモート画面の操作方法

リモート画面ではお手持ちのPCから本機へアクセスしPC上から、ライブ/再生/バックアップ/設定動作が行えます

ログイン方法

操作手順

1. リモート接続を行うと"ログイン画面"が表示されます
2. ご利用のアクセス権限に応じ"ユーザーID"と"パスワード"を入力し"LOG IN"をクリックします



ユーザーIDの初期設定

管理者 ID: 9 パスワード: 3333

使用者 ID: 8 パスワード: 2222

ゲスト ID: 7 パスワード: 1111

※ログインパスワードは本機より変更可能です

3. お使いのPCで初めてアクセスする場合、"Active X"のインストール画面が表示されますのでインストールしてください
4. インストール後に再度ログインするとリモート画面が表示されます

ワンポイントアドバイス！

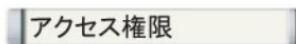
"Active X"のインストールが行われない場合はブラウザのセキュリティ設定を"中"に設定し、再度アクセスしてください。

ネットワーク(設定編)――

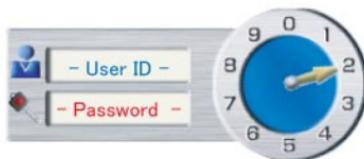
ログインパスワードの変更方法

操作手順――

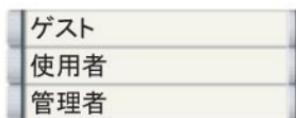
- 1.メニュー>ネットワークを開きます



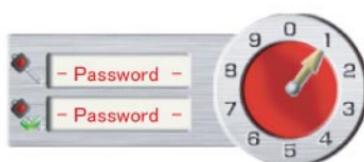
2. で“アクセス権限”にカーソルを合わせて を押します



3. パスワード入力画面が表示されますので“DVRの管理者ID”でログインします



4. でパスワードを変更したいユーザー（ゲスト/使用者/管理者）にカーソルを合わせて を押します



初期設定パスワード

管理者：3333

使用者：2222

ゲスト：1111

5. 上段に現在パスワードを入力し、下段に新しいパスワードを入力します。 (4行)

6. "パスワードが変更されました！"と表示が出れば完了です。

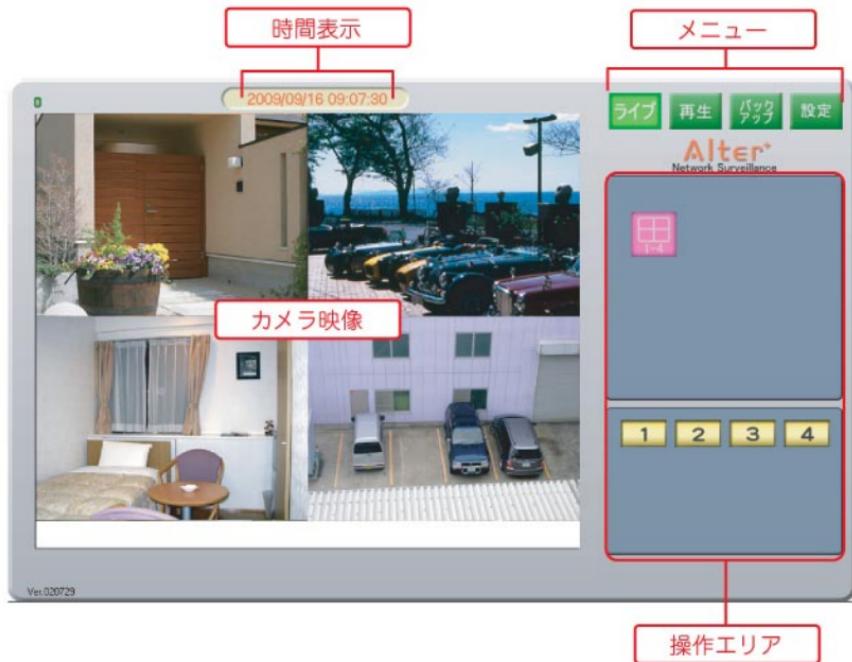
⚠ ご注意！

ログインパスワードは変更可能ですがユーザーIDは変更することが出来ません。

ネットワーク(操作編)――

◎リモート画面の操作方法

リモートアクセスしログインすると下記の”リモート画面”が表示されます。
画面表示や操作方法は以下のようになります。



操作方法

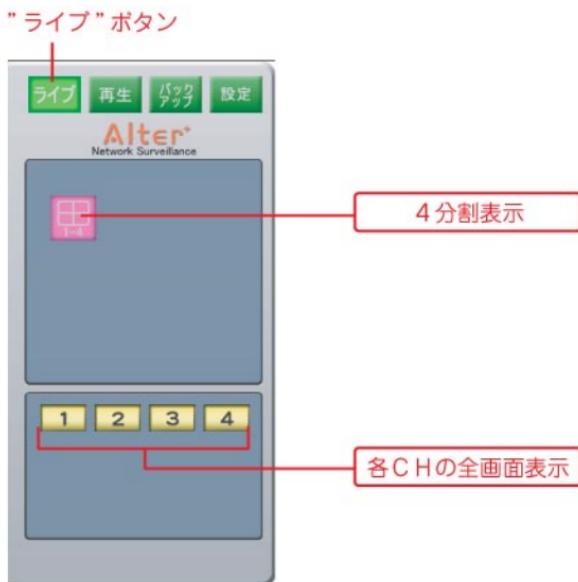
メニュー/操作エリアにあるボタンをクリックすると画面の切替えや各ボタンごとの動作が行えます。

ライブ映像を見る

ライブ映像は今現在のカメラ映像を確認することができます。

操作方法

ネットワーク画面の”ライブ”ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。それぞれのボタンを押すと各動作が行えます。



ワンポイントアドバイス！

リモートアクセスはインターネット回線を利用するため実際の映像に対し若干のタイムラグが発生します。またお使いのインターネット回線の状況やパソコンの性能によってタイムラグが大きくなる場合があります。

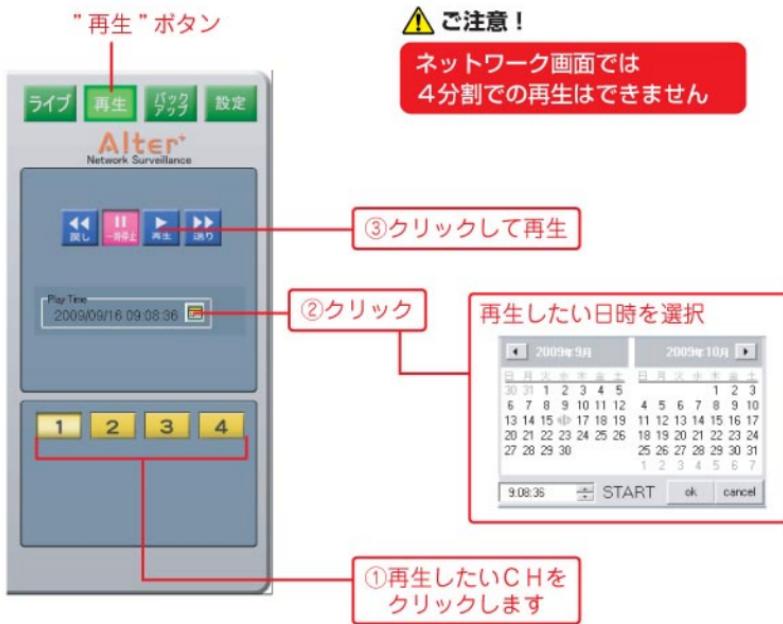
ネットワーク(操作編)――

記録映像を再生する

記録映像の再生はDVRに記録済の映像を確認することができます。

操作方法――

ネットワーク画面の”再生”ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。下記図の手順で映像の再生が行えます。別のチャンネルを再生したい場合は”一時停止”を押して①～③動作を再度行ってください。



ワンポイントアドバイス！

再生はライブ映像よりも動作から表示までのタイムラグが長くなります。また、ボタン操作を頻繁に繰り返すとタイムラグが大きくなり応答が無くなったように感じる場合があります。応答が無くなってしまった場合、ブラウザを再起動してください。

バックアップする

DVRに記録済の映像をパソコンへダウンロードして保存することができます。

操作方法

ネットワーク画面の”バックアップ”ボタンをクリックすると操作エリアが切替わります。下記図の手順でバックアップが行えます。



ワンポイントアドバイス！

一度に行えるバックアップはファイルの容量が1GB以下または30分以内です。

ネットワーク(操作編)――

設定

ネットワーク画面より各種設定の確認や変更を行うことができます。

※ブラウザ環境による文字化け防止のため画面表示は英語/数字のみとなります。

操作方法――

ネットワーク画面の”設定”ボタンをクリックすると画面表示が切替わります。

各項のタブをクリックしてそれぞれの設定が可能です。



System(システム)

現在のシステムステータスを確認できます。

Bitrate(ビットレート)

映像の品質を設定できます。

※お使いの環境下で映像が滑らかに表示されない場合は数値を低くしてください。

PPPoE(ピー・ピー・ピー・オー・イー)

PPPoEの設定ができます

※本書ではルーターを利用した、リモート接続を推奨しておりますので
本項での説明は省略させて頂きます。

DDNS(ディー・ディー・エヌ・エス)

DVR側からDDNSサーバーの設定ができます

利用可能なサービスは“DynDNS.com” “No-IP” の二種類です。

※上記のDDNSサービスは無料サービスの為、当社ではサポート対象外とさせて頂きます

Mail(メール)

アラーム発生時に指定したアドレスに通知メールを送付できます

メールの送付は通知のみとなります(画像データ等は添付されません)

※メールの送信は送信側のEメールアドレス設定が必要になります。

お使いのEメールの設定をご利用ください。

⚠ ご注意！

“PPPoE”はルーターを使用せずに直接モデムと接続を行う場合に使用します。本書ではルーターを利用したリモート接続を推奨しておりますので本項での説明は省略させて頂きます。また“PPPoE” “DDNS”的サポートも対象外とさせて頂きます。リモート接続の際はブロードバンドルーターをご利用ください。

HDDの交換

HDDの交換について

本機はご自身でHDDを交換することが可能です。

ご自分で作業される方へ

A D - N 4 シリーズは市販されているS A T A タイプのHDDがご利用いただけます。HDDは精密機器ですので本書の”必ずお読みください”的をお読みの上、特に丁寧に取扱ってください。

HDDの特性や交換手順を十分にご理解のうえ作業を行ってください。

HDDの互換・保証

当社より提供するHDD以外のHDDを本機にご使用の場合、HDDの互換・保証は致しておりませんのでご注意ください。

また、記録データ内容についてはいかなる場合においても保証致しかねます。

動作確認済のHDD

当社では以下のメーカーのHDDで動作確認いたしております。

■HITACHI社製 ■Seagate社製 ■Western Digital社製

※上記メーカーのHDDでの動作確認を行っておりますが、動作保証は致しておりません。

HDD交換サービス（有償）

HDDの交換は当社でも承っております。

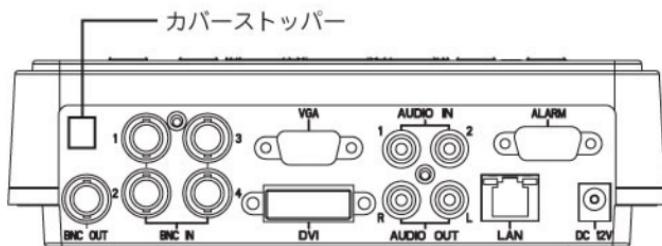
下記のサポートセンターまでお気軽にご相談ください。

オルタプラスサポートダイヤル

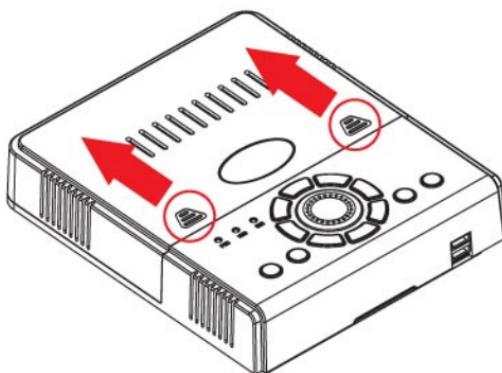
TEL：042-775-2266（平日：9:00～17:00）

交換手順

- 1.本体後ろ面左上にある"カバーストップバー"のネジをはずします



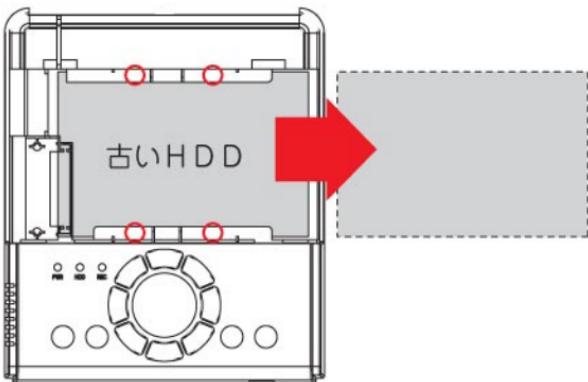
- 2.○印の位置を指で押しながらカバーを奥にスライドさせます



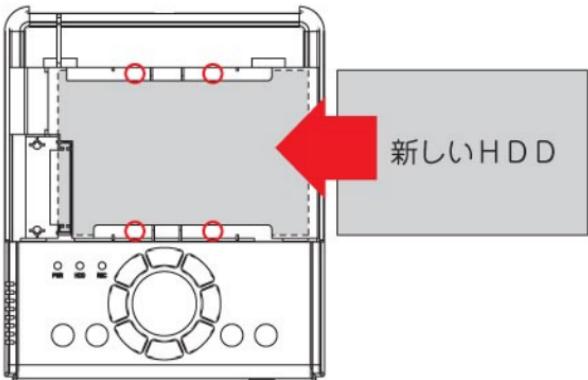
HDDの交換

3. HDDが取付けされている4箇所のネジをプラスドライバーで取り外し、

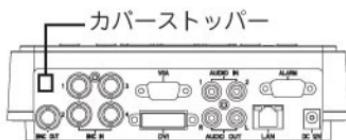
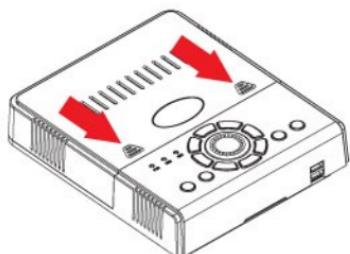
HDDを右側にスライドさせてHDDを外します



5.新しいHDDを挿入し4箇所をネジ止めします



6.本体のカバーを閉じ、カバーストップバーを取付けます



7.本機がHDDを認識し画面上に”フォーマットしてください”と表示されたらフォーマットしてください

8.HDD容量が画面右側に表示されれば完了です。

ワンポイントアドバイス！

HDD交換後にHDDが認識されるまでおよそ30秒程度必要です。
本機は電源を切らずにHDDが交換可能なホットスワップ機能を搭載しています。

ご注意！

HDD交換の際、システム状況に応じて自動的に再起動がかかる場合があります。

製品仕様

型式		AD-N432	AD-N450	AD-N401T
システム	OS	Original GUI		
	マルチプレクス	Quad Ruprex (ライブ/録画/再生/ネットワーク)		
	メニュー表示言語	日本語 / 英語		
記録媒体	内蔵HDD	320GB	500GB	1TB
	HDDタイプ	3.5" SATA × 1 (120GB~1TB)		
	バックアップデバイス	USBメモリ (128MB~8GB)		
映像表示	表示方式	NTSC / PAL (自動判別機能付)		
	映像入力	4CH BNC-J		
	映像出力端子	BNC-J / VGA / DVI-I のいずれか1CH		
	映像出力サイズ	BNC : 720x480 VGA : 800x600 60Hz / 1024x768 60Hz / 1280x1024 60Hz DVI-I : 800x600 60Hz / 1024x768 60Hz / 1280x1024 60Hz		
	ループアウト	- (なし)		
	コールモニタ	- (なし)		
	ビデオロス検知	各CHに搭載		
	モーション検知	各CHに搭載		
	プレビュー解像度	各CH 最大 720x480 Pixels		
	プレビューレート	120fps		
	カメラ画質調整	輝度/コントラスト/色合い/濃度 をカメラごとに100段階で設定可能		
	画面表示	4分割 / 各CH単独		
	自動スイッチャー	- (なし)		
	デジタルズーム	- (なし)		
音声	表示色	1600万色		
	入力	2CH(モノラル) RCA-J (カメラ1CHと2CHに連動)		
	出力	1CH(ステレオ) RCA-J		
録画	圧縮方式	H.264 エンハンスト		
	圧縮レート	300:1以上		
	解像度	640×480 / 640×240 Pixels		
	画質設定	5段階 (30fps 設定時は画質4まで)		
	フレームレート	各CH 2・3・5・7.5・10・15・※30/fps で設定可能 ※解像度設定640*240のみ		
	録画方法	常時/モーション/センサートリガー		
	スケジュール設定	1週間を30分単位で設定可能		
	ブリアラーム録画	3~10秒 (オート)		
再生	上書き録画	ON/OFF設定可能		
	検索方法	日時 & フレーム指定 / イベントリスト		
	操作	再生/早送り/巻戻し/一時停止		
	早送り速度	3段階 (x5 x15 x60)		

イベントリスト		最新4096件を記録 (動体検出/カメラ断線/アラーム/HDD/電源/検索しおり)		
動体検出	検出エリア	各チャンネル 48マス(8x6)でマスク設定可能		
	感度設定	100段階		
アラーム	入力	4CH (!リレー接点方式 NO または NC)		
	入力端子	D-Sub 9 pin (オス)		
	出力	1CH (!リレー接点方式 NO または NC)		
	ブザー	内蔵ブザー		
	検出トリガー	センサー入力 / ビデオロス / モーション検知		
	アラーム時間	1~255秒 で設定可能 (録画/ブザー/外部出力に連動)		
ネットワーク	Ethernet	10/100 base		
	リモートブラウザ	IE ブラウザ (IE7.0以降で動作確認)		
	リモート解像度	ブラウザ側画面サイズ 1024*768pixel 以上を推奨		
	リモート操作	ライブ/再生/バックアップ/設定		
	再生ビットレート	自動設定 または 10段階のユーザー設定		
	音声出力	- (なし)		
	プロトコル	PPPoE / DDNS		
	リモート接続数	1		
PTZコントロール機能		-(なし)		
DVR操作	本体	本体ボタン / リモコン / USBマウス		
	ネットワーク	IE ブラウザ		
信頼性	システム回復	停電時自動復旧、自己診断機能 (電源復旧時)		
	時計	内蔵クロック (月差+-50~100秒)		
		NTPクライアント機能(インターネット環境必須)		
	HDD交換	対応 (ホットスワップ機能搭載)		
	アクセス権限	ローカル2段階 / ネットワーク3段階 (パスワード保護)		
	内蔵ファン	○ (静音設計)		
外形寸法		190mm(W) x 230mm(D) x 55mm(H)		
質量		約 1.5kg	約 1.7kg	約 1.7kg
電力	電源	AC100V (専用アダプターを使用)		
	電圧	DC12V		
	消費電流	2A		
	消費電力	最大24W		
動作温度範囲		5°C ~ +40°C		
月々の電気代		約 380 円		
月々のCO ₂ 排出量		約 6.57kg		
認証		PSE / FCC / CE		

困ったときは

製品が正しく動作しない場合や操作方法がわからない時は下記の事例をご覧のうえ再度使用方法を確認して下さい。

電源が入らない

電源コードやA Cアダプターが正しく接続されていますか？

対策：本書P.17の”電源を入れる”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

映像が表示されない

カメラからの配線、モニターへの配線が正しく行われていますか？

対策：本書P.12の”接続と準備”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

録画されていない

該当CHのフレームレートが0またはXになっていませんか？

対策：スケジュールやフレームレートを確認のうえ正しく行ってください。

アラーム表示が消えない

外部センサーが正しく接続されていますか？

対策：P.64を参照し外部センサーの接点方式を確認し正しく設定・接続してください。

外部センサーを利用しない場合は入力タイプを”OFF”に設定してください。

常にビデオロスが表示される

カメラケーブルが正しく接続されていますか？

対策：本書P.12の”接続と準備”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

カメラの電源が入っていますか？また、途中でケーブルが断線していませんか？

対策：カメラの配線や電源供給を確認してください。

※本機よりカメラへ電源供給は行われません。

モーション検知されない

□モーション検知が“〇”に設定されていますか？

対策：本書P.60の“モーション録画”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

□エリア・感度が正しく設定されていますか？

対策：本書P.60の“モーション録画”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

イベントリストを選択しても映像が再生されない

□上書き録画が“ON”的場合、過去のイベントリストだけ残る場合があります

対策：録画データとイベントリストは別々のデータベースに管理されているため
このような現象が発生します。故障や録画エラーではありません。

音声が再生されない

□音声入力が正しく行われていますか？

対策：本書P.49の“音声”の項を確認の上、正しく設定を行ってください。

□音声出力の配線が行われていますか？

対策：音声出力配線を確認してください。

□4分割表示の時は音声が再生されません

対策：該当CHを個別表示にしてください。

記載の事例に当てはまらない、症状が改善されない場合は大変お手数ですがお買い上げの販売店もしくは弊社（下記）までご連絡下さい。

●お電話でのお問合せ

042-775-2266

受付時間

平日 9:00~17:00

●WEB SITEよりお問合せ

<http://www.alterplus.jp>

「家庭用防犯カメラ」で検索！！

HP内のお問合せフォームより
お問合せ下さい。